

平成22年度

事業報告書

ともえ学園

1 利用者の状況

1 1年間の入所者状況

定員 70名

月	月初在園数	入 所	退 所	月末在園数
4	70	0	0	70
5	70	0	0	70
6	70	0	0	70
7	70	0	0	70
8	70	0	0	70
9	70	0	0	70
10	70	0	0	70
11	70	0	0	70
12	70	0	0	70
1	70	0	0	70
2	70	0	0	70
3	70	0	0	70
計	70	0	0	70

2 短期入所事業受入状況

定員 4月～10月 1名

11月～ 2名(1名増員)

月	受入人数	受入回数	受入延べ日数	備 考
4	3	5	17	
5	2	5	15	
6	1	3	13	
7	4	8	24	
8	3	7	18	
9	2	4	18	
10	2	6	17	
11	4	8	23	
12	2	6	19	
1	1	4	15	
2	2	2	6	
3	1	5	13	
計	27	63	198	

3 日中一時支援事業受入状況

定員 若干名

平成22年度は受け入れ無し。

月	受入人数	受入回数	受入延べ日数	備 考
全	0	0	0	
計	0	0	0	

4 在所者状況（平成23年3月31日現在）

年 齢	男	女	計
18～20歳未満	0	0	0
20～25歳未満	2	0	2
25～30歳未満	3	0	3
30～35歳未満	6	0	6
35～40歳未満	18	1	19
40～45歳未満	17	2	19
45～50歳未満	13	1	14
50～55歳未満	5	0	5
55歳以上	2	0	2
計	66	4	70

在 園 年 数	男	女	計
0～1年未満	0	0	0
1～5年未満	4	0	4
5～10年未満	6	1	7
10～15年未満	35	2	37
15～20年未満	5	0	5
20年以上	16	1	17
計	66	4	70

診 断 名	男	女	計
自閉症	48	3	51
精神発達遅滞	11	0	11
てんかん	5	0	5
統合失調症	1	1	2
その他	1	0	1
計	66	4	70

支援費支給区分	男	女	計
6	20	0	20
5	23	2	25
4	19	2	21
3	3	0	3
2	1	0	1
計	66	4	70

出身市区町	男	女	計
広島市中区	3	1	4
広島市東区	2	1	3
広島市南区	5	1	6
広島市佐伯区	6	0	6
広島市安佐北区	3	0	3
広島市安佐南区	4	0	4
広島市安芸区	1	0	1
大竹市	1	0	1
呉市	8	0	8
福山市	5	0	5
廿日市市	1	0	1
三次市	4	0	4
東広島市	1	0	1
尾道市	2	0	2
竹原市	1	0	1
江田島市	1	0	1
庄原市	2	0	2
山県郡北広島町	1	0	1
安芸郡熊野町	1	0	1
世羅郡世羅町	1	0	1
島根県松江市	2	0	2
山口県防府市	1	0	1
山口県周南市	1	0	1
山口県岩国市	2	0	2
山口県下関市	1	0	1
山口県熊毛郡平生町	1	0	1
高知県高知市	1	0	1
岡山県真庭市	1	0	1
富山県富山市	1	0	1
石川県津幡町	0	1	1
長崎県長崎市	1	0	1
東京都渋谷区	1	0	1
計	66	4	70

2 トライアングルグループ

1 グループ目標

利用者自身の自己決定、自己選択を尊重する。
ひとり一人が安定した生活を送られるよう支援する。

2 生活

目 標 基本的生活習慣の確立を目指す。
健康、清潔の維持に努める。

内 容

衣 類 整 理：衣類を洗濯室から自室に持ち帰り、整理し入浴の準備を行う。

パジャマの準備ができたなら脱衣室の棚へ持って行く。

時間を分け、支援の必要な方は職員が側について一緒に行う。

シーツ交換：毎週日曜日に、職員と共に自分のシーツを交換する。

汚れている物は随時交換する。

失禁等で寝具が汚れやすい方については、個別に敷きパット等を使用し、なるべく寝具が汚れないように配慮した。

衣 類：季節に応じた衣類、好みや使いやすさに配慮したものを提供した。

掃 除：汚れたらすぐ掃除を行う。毎朝各居室のモップ掛けを行う。

一日一部屋確実に掃除をする。

トイレは1日3回以上掃除を行う。

歯 磨 き：歯磨きチューブを使用し、毎食後、確実に仕上げ磨きを行う。

毎週日曜日の午後数名づつ歯磨き支援を行った。（コンクール液を使用）

入 浴：体調の悪い人以外は毎日入浴し、清潔を保つ。

同性支援で行い、ゆっくり入ってもらよう配慮する。

食 事：落ち着いて食べて頂けるよう配慮する。

・月1回血圧、体組成測定を行い増減をチェックする。（健康状態の把握）

・毎週土曜日の午前、爪切り、その他身だしなみをチェックする。

・うがい、手洗い：手指乾燥機を購入し手指消毒の励行。

・入浴後のケア：頭髪をドライヤーで乾燥させる。皮膚疾患・怪我等の薬を塗布する。

・受診：歯磨き時に口腔、入浴時には全身をチェックし、必要に応じ受診する。

・生活用品の補充（ジャンボロール・ハミガキチューブ・歯ブラシなど）を徹底する。

・髭剃りの個人持ち：管理は職員が行い、掃除も一日おきに行う。充電を週1回日曜日に行う。

まとめ

・ジャンボロール使用状況を作成する事で使用頻度を把握出来た。

・個別の利用者を対象に毎日の体重、食事量、排便記録表を作成し、浣腸施行から自然排便に移行出来るように看護の指示を受けながら健康管理にも努めた。

・朝夕以外にも必要に応じてその都度看護より指示を受け薬付けを行い、傷については早い治癒へつながった。

3 日課

目 標

- ・日課の流れをスムーズにする事によって、混乱を防ぎ、利用者の安定につなげる。
- ・職員の役割分担を明確にし、スムーズに支援できるようにする。

内 容

掃除について

- ・早出職員による居室掃除は1日1部屋を確実に出来るよう、チェック表を作成した。フィルター掃除も同時に行い、清潔な環境を保てるようにした。
- ・廊下、職員室の掃除を毎日夜勤者が行い、爪切り・耳かき後にリビングの掃除を行った。また時間があれば、壁の掃除も行った。
- ・早出のトイレ掃除は、日勤者が休憩から出てきてから（13：30）行う事とし、利用者の見守りを充分に行えるよう配慮した。

トイレ誘導について

- ・放尿や失禁のある利用者について、日中のトイレ誘導を引き続き行った。
- ・日中のトイレ誘導する時間を明確にする。起床時・間食前・散歩前・入浴前・眠剤服薬後
- ・夜間のトイレ誘導は6名とし、0時と4時からを1時に変更した。

ロッカーの施錠について

- ・服破りに減少がみられた為、施錠の見直しを行い8名に変更した。

午後の日課（散歩）について

- ・昨年に引き続き散歩を行った。人数確認の場所や職員の配置を決めて、安全に配慮しながら、散歩をスムーズに行えるようにした。
- ・天候や体調を考慮し、その日のリーダーの判断で散歩の場所（遊歩道、学園周り、室内）や参加者を決めた。

ブログについて

- ・「トライアングルのできごと」について、月毎の予定表を作成し、コメントの管理を行った。

まとめ

- ・日課の流れも定着してきており、利用者の皆さんは時間に沿って混乱無く行動できている。
- ・午後の日課の散歩は安全に配慮し、スムーズに行えた。グループ内でも身体の機能や体力に差が出てきている為、今後はグループ別や個別での散歩も考えていきたい。

4 行事

目 標

- ・利用者個々に応じた行事を提供する。
- ・季節感を実感したり、様々な体験をしてもらえる事で充実した生活を送ってもらう。

内 容

月	日	行 事 名	参加人数	場 所
4	13	お花見	25名	学園ハウス横広場・尾関山
	13	お楽しみ外出	3名	湧永庭園
	20	お楽しみ外出	3名	みよし運動公園・マクドナルド
5	6	日帰り旅行	2名	太田市内・三瓶山
	13	宿泊旅行	4名	山口下関海峡館・サファリーランド

	22	お楽しみ外出	3名	みよし公園・マクドナルド・フタバ図書
	22	バスドライブ	21名	君田遊園
6	10	日帰り旅行	3名	太田市内・三瓶山
	15	お楽しみ外出	3名	吉田ゆめタウン
	19	お楽しみ外出	3名	土師ダム
	19	バスドライブ	22名	常清滝・川の駅
7	6	お楽しみ外出	3名	庄原上野公園
	13	お楽しみ外出	3名	マクドナルド・風土記の丘
	17	お楽しみ外出	3名	湖畔の里福富・カドーレ牧場
	17	バスドライブ	22名	口和町鮎の里公園
8	1	合同宿泊旅行	1名	広島市サンフレッチェ
	4	日帰り旅行	2名	世羅高原農園・トムミルクファーム
	21	夏祭り	25名	センタープレイルーム
	24	お楽しみ外出	3名	国営備北丘陵公園
9	7	お楽しみ外出	3名	カドーレ牧場
	9	宿泊旅行	4名	山口角島・下関市海峡館
	15	合同宿泊旅行	1名	マツダスタジアム・ソレイユ他
	18	お楽しみ外出	3名	三良坂町湖畔の森
	18	バスドライブ	22名	風土記の丘
10	6	宿泊旅行	3名	山口県柳井市・岩国市・宮島
	10	親子レク	25名	センタープレイルーム・遊歩道
	26	お楽しみ外出	3名	庄原上野公園
11	11	日帰り旅行	3名	福山動物園
	17	日帰り旅行	3名	安佐動物園
	20	お楽しみ外出	3名	平田観光農園
	20	バスドライブ	20名	七塚原高原
12	7	お楽しみ外出	3名	田園・三次運動公園
	14	お楽しみ外出	3名	三次ジョイフル・湖畔の森福富
	18	忘年会	25名	センタープレイルーム
1	22	新年会・初詣	25名	センタープレイルーム・出雲大社三良坂分院
	25	お楽しみ外出	3名	琴引フォレストパークスキー場
2	16	お楽しみ外出	3名	吉田ジョイフル・土師ダム
	19	バスドライブ	25名	せら夢公園
	23	お楽しみ外出	3名	ばり馬三次店・世羅町山の駅・ゆめ吊り橋
3	10	お楽しみ外出	3名	吉田ゆめタウン・土師ダム
	19	バスドライブ	25名	風土記の丘

まとめ

- ・グループ会議の後に、季節の行事・お楽しみ外出・バスドライブを実施した。

バスドライブとお楽しみ外出を季節の行事以外は同日に行うことで、人数配分が良く、ゆっくりと過ごすことができて良かった。

- ・宿泊旅行・日帰り旅行を計画する事で、個々に応じた場面を設定する事ができた。
- ・お楽しみ外出は、クラブ活動後より出掛けられるようにしたことにより、外出の時間が長く出来また、外食も出来るようになった。
- ・1人当たりの外出回数を増やした。
- ・親子レクでは、学園で行いご家族の方とゆっくりとした時間を過ごしていただいた。

5 環境

目的

- ・快適で安全に過ごせる環境整備を行う。

内容

- ・掃除確認を作成し、居室やグレーチング、洗面所、フィルター、掃除など至る所が定期的に掃除が出来るよう取り組んだ。
- ・掃除のチェック表を作成し、毎日1部屋づつ順番に掃除を行った。
- ・クリーンボーイを使い、消臭、加湿対策に努めた。
- ・リビングに加湿器を購入した。

まとめ

- ・毎日の居室掃除を行う事で、清潔な生活環境を維持出来た。同時にベッドの配置を変えたり、破損箇所の確認が出来た。
- ・空気の乾燥の防止やウィルスの感染への対策として加湿を行い、毎回水拭きはもちろん洗剤を使い衛生に勤めた。
- ・加湿器を購入し安定した生活が出来るようになった。

6 創造活動

目的

利用者の拘りや特徴などを個性として認め、それを活かしていく。

内容

まずは絵や字を書いたり自由な取り組みを行ってみた。非常に個性的でこれからの可能性を感じることができるものも沢山あった。また今までは気付かなかった利用者の能力や特徴を発見することもできた。

当初は計画性はなく手探りの状態で行っていたが、それでは内容が乏しくなり必要な道具なども無かったりするため、1か月の予定を立てるようにした。予定通りには行かないことも多々あったが、以前よりはスムーズに取り組めるようになった。そうすることで利用者の能力（字や数の理解など）の把握や何に興味があるのかなど、活動に目的やねらいを持たせることができるようになった。

経過、課題

今後の課題としては興味がない利用者に対する取り組みをどのようにしていくのかということや、活動の場所、時間の見直し、職員の人数不足、活動内容の発展性など考慮していく点が多い。

7 グループ会議

目的

利用者により良いサービスを提供できるように支援内容、各活動についての課題を協議する。
ケースカンファレンスを行い支援の方法、見直しを行う。

内 容

- 4月...日課の確認、食事支援について、音響設備について
- 5月...創造活動について、シーツ交換について、ケースカンファレンス(5名)
- 6月...洗面台下の棚の活用について、ケースカンファレンス(7名)
- 7月...手指乾燥機について、歯磨き支援について、ケースカンファレンス(3名)
- 8月...手洗い支援について、創造活動について、ケースカンファレンス(2名)
- 9月...親子レクの確認、日課の確認について、人権について
- 11月...洗面所について、服薬方法について、ケースカンファレンス(4名)
- 12月...服薬マニュアルの変更について、加湿器の経過について、ケースカンファレンス(4名)
- 1月...人権侵害について、服薬方法の経過について、ケースカンファレンス(6名)
- 2月...食事支援について、ケースカンファレンス(2名)
- 3月...各係のまとめ、日課の確認、ケースカンファレンス(3名)

経過、課題

- ・ケースカンファレンスでは直ぐに対応しなければいけない利用者さんについての話し合いを中心に支援方法を考えた。また、担当利用者の抱えている課題について意見交換を行い対応策を考え取り組んでいった。
- ・会議での時間も限られており人権などでの意見交換が出来ずサイボウズでの意見集約も多く結論がなかなか出なかった。
- ・それぞれが考えをまとめて参加し、活発な意見が出るよう議題の提案を早めに行っていたが考えをまとめて出席する職員は少なかった。限られた時間を有効に使える会議の進行、参加者も意見をまとめて参加できるよう働きかけていく。
- ・今後も利用者のより良い生活が送られるよう意見を出し合い討論出来る場にしていきたい。

8 まとめ

今年度は職員の変更もほとんどなく利用者の混乱も少ないスタートとなった。日課も平日の午前中はクラブ活動、午後からは散歩という変わらない一日の流れは安心出来る要素となっていたように思う。

また、今年度は新たに「創造活動」の時間を取り入れ絵を描いたり、習字、音楽、間食作りなど様々な方面から利用者の持っている力を引き出せるよう取り組んだ。

食時場面や入浴場面でも引き続き時間に余裕を持たせたり個別に配慮を行った。

また、服薬については、利用者はもちろん職員も落ち着いて行えるようマニュアルの見直しを行った。

環境面ではリビングへ加湿器を常時設置し加湿対策を行った。また、トイレを中心に生活棟内の掃除の徹底を行い、清潔な環境づくりに努めた。

今後も利用者の方が穏やかに安心して過ごせる環境づくりを行っていきたい。また、創造活動等を通して、一人ひとりの個性などを見つけ出していきたい。そして、一人ひとりとは違うので対応も個々に応じ、利用者の立場に立って考え、柔軟な対応、関わり方について日々考えて支援したい。

(藤田由香里、山下 誠、有田貴之、山地恵子、高場修治、桑田樹実、藤 頼久、菅原献司、前田仁也)

3 レインボーグループ

1 グループ目標

- ・言語的、非言語的コミュニケーションのあり方を考えた対応をし、安定し、穏やかに生活できるよう個別配慮をした支援をする。
- ・体力作り、健康保持を考慮したプログラムを考える。
- ・安全で清潔な環境を提供する。

2 生活

1) 生活全般

目的

- ・基本的生活習慣の確立を目指す。
- ・健康で規則正しい生活を送られるよう支援する。
- ・皮膚疾患、外傷などの予防、対応。

内容

〔生活〕

食 事：脂質異常食を取り入れる。

ゆっくり・美味しくをモットーに個別配慮する。

入 浴：個々のペースにあわせた誘導、支援をする。介助しながら洗髪・洗体の自立を目指す。又怪我等無いかの全身のチェックをする。

排 泄：個々に応じた排泄誘導、又確認による健康状態の把握に努める。

排泄後始末介助と援助（トイレトペーパー使用）。排便確認し、排便があった場合は量や状態を日誌に記入する。

運 動：午前の集い前ラジオ体操第1、午後の集い前ラジオ体操第2を行う。

午後から山と生活棟の周りの2班に分かれて散歩をする。

寝 具：週一回シーツ交換、又日常的汚れはその都度交換する。

衣 類：年2回の衣替え・適宜補充。季節に応じた衣類調整等の気配りをする。

衣類の破れなどは速やかに修正などを行い、身だしなみに気をつける。

日用品：定期的確保による常備。

掃除の徹底による安全・清潔な生活空間の確保。

掃除：ローテーションで、毎日一部屋居室掃除をする。

〔衛生〕

手洗いの励行：飲食前・外出後・クラブ活動後、手を添える等個別支援による確実な手洗い。

シャボネット・ジェスバ使用。タオル、手指乾燥機による確実な拭き取り。

口腔：毎食後の歯磨き実施。定期歯科受診。歯ブラシの交換。

外出後・クラブ活動後にはイソジンによる口腔内消毒。

洗顔・髭剃り：毎朝、朝食後に濡れタオルでの顔拭き及び、電気カミソリでの髭剃り実施。

散髪：定期的（ひと月半程度）実施。

薬付け：看護の指示により、入浴後、処置記録表を元に確実に実施。すり傷、切り傷等のイ

ソジン消毒や軟膏塗布については、その時の利用者の状況に応じた処置をする。

加湿：感染症予防対策でクリーンボイ(室内浄化機)による加湿を冬場1日2回行った。

服薬：食事後の服薬については、2名で対応する。

経過、課題

- ・引き続き健康状態の観察が必要と思われる。身体の変調等、日頃の様子観察をし、又看護との連携を密とする。細かいことでも看護に相談を行い、迅速な処置をしていく。
- ・身だしなみについては、着衣のみだれ、衣類の補修などを迅速に行う。

2) 活動

目的

- ・午前日課係と連携し、利用者が安定して活動しやすい場の提供。
- ・スムーズに活動できるよう準備や配慮を行う。
- ・個々に合ったことを楽しみながら行い、安定を図る。

内容

- ・午前活動と午後活動に分けて実施した。午前のクラブ活動では、月曜日～金曜日に実施。
きのこクラブ(12名)...おもにホダ木の移動(雨天、冬季はセンター内ウォーキングとボールを使った運動)
いきいきクラブ(9名)...生活棟周辺のウォーキング
毎月最後のクラブ活動日には月例会を行った。
- ・午後の活動はおもに散歩を行った。遊歩道コースと生活棟の周りコースの2グループに分かれ、4名の職員が2名ずつ分かれて対応した。

経過、課題

- ・クラブ活動に、利用者の皆さん落ち着いて参加された。しかし個々の適正や好みに合った配置が難しく、今後の課題である。
- ・体調不良や調子が悪くて活動に参加できない方もいたが、1年間みなさん頑張ってクラブ活動に参加された。
- ・午後の散歩を2グループに分けたことで、生活棟周りコースの利用者の方は歩くペースがそれぞれ違うが、2名の職員で対応することにより目も行き届き、より良い支援ができるようになった。
- ・午後の活動が今年度もウォーキング中心となったが、ウォーキング以外のレクリエーション的な取り組みがほとんど出来なかった。来年度は利用者さんが楽しく過ごして頂ける時間を提供できるようにしたい。
- ・今後も健康と体力維持のためにも歩くことは大切であるので、続けていきたいと思う。また、季節感を感じながら歩けるので利用者の方にとっては良い気分転換にもなっているように思われる。

3) 散歩

目的

- ・体力作り
- ・健康維持

内容

- ・2つのグループに分かれて、生活棟周り・山の遊歩道を散歩する。
- ・雨天時は、生活棟内や療育センター内をウォーキングする。

経過、課題

- ・一日の生活の中で、午後は「散歩」と言う日課が定着している。
- ・個々の体調や体力に合わせて散歩を行い、各々の体力と健康の維持が図られた。
- ・雨、雪などの天候不良の日には、室内でのウォーキングが主になっている。その為、利用者間の関係により、一緒に散歩が難しいケースがあり、ウォーキングに参加してもらえない方もいた。
- ・来年度は天候不良の日でも、療育センターと生活棟内の2グループに分かれて散歩を行い、全員が参加できる状況を作っていきたい。

4) 創造活動

目的

- ・創造活動により生活の幅を広げ、利用者の新しい面を発見する。

内容

- ・毎週水曜日の午後を活動の時間とした。
- ・画用紙や石などの色々な素材に絵や文字を書く作業、粘土を使用した造型作業、シールを使用したカード作り、簡単な運動などを行った。また、書き初めやクリスマス・カードの作成など、季節の行事に合わせた活動も行った。

経過・課題

- ・今年度からの新しい取り組みであったが、落ち着いて参加され、個性的な作品が数多く出来上がったと思う。
- ・楽しい内容、解りやすい作業の説明などの工夫を行い、興味の喚起と活動内容の充実を図っていききたい。
- ・利用者個々の機能や興味の有無を踏まえ、創造活動を通して利用者の可能性を引き出せるような活動を模索していききたい。

5) 環境

目的

- ・快適で生活感のある空間を提供する。
- ・生活棟の衛生環境維持。

内容

- ・外泊期間中にグレーチング・空調フィルター・倉庫の掃除・居室の換気や中庭の掃除を行った。
- ・壁や戸、カーテンの補修、ベッド点検のなどの損傷箇所があった時には随時営繕を行った。
- ・利用者の居室の掃除用にチェック表を作成し、毎日、遅出・前遅出の職員が一部屋
- ・トイレチェック表をトイレ倉庫に貼り早出・日勤・遅出と時間を決めてトイレの臭いやトイレトペーパーの有無の確認を行った。
- ・毎週日曜日のシーツ交換後、各居室・廊下・リビングの床拭き掃除を行った。
- ・湿度が低い時にはクリンボーイを使用し、加湿を行った。
- ・日課の中で役割を決め、ドアノブ・窓拭き・モップ掛け・換気など行った。
- ・随時窓が汚れた時は、その都度窓を綺麗に拭いた。
- ・トイレ、居室の掃除など衛生的な生活棟を維持するため、道具の整備、補充を行った。
- ・破損したソファは処分や療育センター更衣室で活用し、リビングには新しいソファを設置し、

休息場所として利用してもらった。

経過、課題

- ・トイレの臭いや汚れを解消する為、トイレチェック表で確認を行いこまめに掃除を行った。臭いや汚れがある時には、早急に掃除した。壁が黄ばんでいる所もあるが、嫌な臭いが無くなり、清潔な状態で使用して頂けた。
- ・壁の損傷（穴など）があったが、営繕係に依頼して修復してもらった。
- ・布団干しの順番を作成したが、布団干しがあまり出来なかった
- ・ホワイトボードの作成が出来なかった。来年度は利用者さんが分かりやすく、一日の流れや職員の勤務態勢、食事の内容、行事予定を伝えられるように作成したいと思う。

6) ホームページ

目的

ホームページを通じて利用者の生活や様子を、家族を始め各方面に発信する。

内容

行事や日課、日々の生活風景等を定期的に紹介した。

定期的に壁紙やアイコンを季節に応じた物に変更する。

経過・課題

撮影対象者の一ヶ月ごとの表を作成した。

不適切な表現にならないように注意しながら、生活の様子を紹介する。

より充実した内容となるように、画面や配色、文字校正など、色々なところに視点を置くこと。

写真や文章などわかりやす工夫していく事が今後の課題である。

7) 日課、日誌

目的

- ・だれにでも分かる日課表の作成。
- ・確実、かつスムーズに支援する為の日課表の作成。
- ・利用者の状況に応じた日誌の変更。
- ・確実な支援が行える為の日誌の変更。

内容

- ・一日の流れと一週間の流れを分かりやすく記載した。
- ・利用者の動きや日課の流れを確認して記載した。
- ・ミスの起こらない支援ができるよう、各マニュアルの変更と徹底化を行った。
- ・排泄状況と排泄支援の確認の為、3名を確認欄を追記した。
- ・利用者の状況に応じて変更を行った。

その他

- ・排泄誘導者の見直しを行った。
- ・定期的に日誌の見直しを行った。
- ・間食場所の検討を行った。

3 行事

1) 誕生者外出

目的

- ・自分の誕生日だということを感じてもらう。

内容

- ・誕生日の日に午後から外出をする。

誕生日	年齢	誕生者外出先
4月7日	38歳	喫茶ヴァイン、三次運動公園
4月16日	45歳	三次運動公園、コンビニ
4月23日	35歳	カドーベーカリー、シューズプラザ
6月17日	33歳	喫茶・セブンイレブン・県立みよし公園
7月27日	62歳	口和方面、コンビニ、三次運動公園
7月27日	43歳	CCプラザ、すし辰
8月5日	46歳	CCプラザ・みよし公園
8月9日	44歳	ココス、サングリーン
8月31日	42歳	国道54号線道の駅巡り(布野～掛合)
9月28日	48歳	奥田元宋・小由女美術館
10月8日	36歳	折り紙博物館、喫茶21番館
11月3日	39歳	三次市吉舎町富士山、セブンイレブン
11月10日	42歳	ナガタニ・喫茶ヴァイン・マクドナルド
11月20日	46歳	安芸高田図書館・ゆめタウン
11月24日	44歳	CCプラザ(喫茶ヴァイン)
11月26日	40歳	風季舎、セブンイレブン、風土記の丘
12月13日	38歳	セブンイレブン、県立みよし公園
12月25日	55歳	デオデオ、サングリーン
1月19日	42歳	君田温泉「森の泉」、喫茶21番館
2月10日	24歳	CCプラザ、コンビニ、運動公園
2月15日	33歳	マクドナルド、フタバ図書、セブンイレブン

経過、課題

- ・ご家族の方の協力で一緒に外出され、誕生日を祝われた方もおられた。
- ・言葉を理解されている方以外にも誕生日を理解して頂けるように外出を計画していく事が課題である。

2) レクリエーション

目的

- ・季節感のあるレクリエーションを提供する。

内容

- ・レインボー会議のある日の午後に季節に応じたレクリエーションを行う。

4月9日	花見
8月7日	夏祭り
11月6日	りんご狩り
12月4日	忘年会
1月8日	初詣・新年会
2月5日	お楽しみレク(カラオケ大会)
3月13日	打ち上げ会

経過、課題

- ・4月の花見、8月の夏祭り、11月のりんご狩り、1月の新年会など四季を感じて頂ける行

事が出来た。

- ・ BGMや服装などの細かい雰囲気作りや、天候不良時の代替案の計画が今後の課題である。

3) バスドライブ・バスハイキング

目的

- ・利用者全員で好きな缶飲料を自動販売機で購入して飲む。
- ・ドライブすることによって気分転換をはかる。

内容

- ・レインボー会議のある日の午後にマイクロバスと8人乗りワゴンに分乗してドライブし、自動販売機で自分の好きな飲み物を購入してもらったり、昼食のお弁当を持って行き、山や公園で食べたり、散歩や遊具で楽しんでもらった。

月 日	行き先	参加人数
5月 8日	総領町 なかつくに公園	19名
6月 12日	風土記の丘	21名
7月 3日	広島県立みよし公園	20名
9月 4日	作木カヌー公園	20名

経過、課題

- ・体調不良で参加できない方、天候不良で行き先を変更した。
- ・作木カヌー公園では浅い川に落ちている石を拾って頂き、創造活動に使用した。
- ・外出先の職員同士の連絡に学園のコードレス電話をトランシーバーモードにして使用しているが、通話距離が狭く連絡をとりにくい事があった。

経過、課題

- ・利用者は大変楽しみにされていた。
- ・行き場所については、時間的かつ利用者の体調面等々の配慮から限られてしまった。
- ・一度だけ個別の外出が重なり、参加出来ない方が3名おられたが、ほとんどの行事に全員が参加された。

4) 外出

目的

カフェ外出

- ・外出することにより気分転換をはかり、通常生活の励みにする。

ランチ外出

- ・自分の好きな昼食を食べ一日ゆっくりと過ごす。気分転換をはかる。
- ・色々な経験の場を提供する。

内容

- ・平日（主に火曜日）にカフェ外出は午後から、ランチ外出は午前中から、お楽しみ旅行は1泊2日で外出する。

月 日	内 容
4月 20日	カフェ外出：安芸高田市立図書館・ゆめタウン(吉田)
4月 27日	カフェ外出：三次運動公園・シューズプラザ
5月 7日	ランチ外出：東珍康・千光寺公園
5月 11日	カフェ外出：みよし運動公園

5月 18日	カフェ外出：安芸高田市立図書館
5月 25日	カフェ外出：安芸高田市道の駅(北の関所)
6月 2日	カフェ外出：三次公園・カルチャーセンター
6月 8日	カフェ外出：備北丘陵公園
6月 12日	カフェ外出：安芸高田市立図書館
6月 29日	カフェ外出：CCプラザ・三次運動公園
7月 8日～9日	お楽しみ旅行：愛媛方面（とべ動物園）
7月 13日	カフェ外出：三次市立図書館・サングリーン
7月 20日	カフェ外出：県立みよし公園
8月 4日	ランチ外出：CCプラザ・ふるさと・ナガタニ
8月 19日	カフェ外出：安芸高田市立図書館
9月 14日	カフェ外出：三次市立図書館
9月 21日	カフェ外出：みよし運動公園
9月 22日	ランチ外出：ジョイフル・みよし公園
10月 5日	カフェ外出：国営備北丘陵公園
10月 12日	カフェ外出：三次公園・カルチャーセンター
10月13日～14日	お楽しみ旅行：しまね花の郷・須佐温泉・出雲大社
10月 19日	ランチ外出：ナガタニ・運動公園
10月 26日	カフェ外出：安芸高田市立図書館
11月 4日～5日	お楽しみ旅行：宮島・安佐動物公園
11月 16日	カフェ外出：セブンイレブン・みよし公園
12月 6日	カフェ外出：マクドナルド・三次運動公園
12月 16日	ランチ外出：交通博物館・グローバルバイキング
12月 21日	カフェ外出：三次市立図書館・サングリーン
1月 18日	カフェ外出：奥田元宋・小由女美術館・マクドナルド
1月 25日	カフェ外出：安芸高田市立図書館・ゆめタウン(吉田)
1月 26日	ランチ外出：かっぱ寿司・千光寺公園
2月 1日	カフェ外出：県立みよし公園
2月 17日	カフェ外出：CCプラザ・尾関山公園
2月 22日	カフェ外出：安芸高田市立図書館・ゆめタウン吉田
3月 1日	カフェ外出：ジョイフル三次店、みよし公園
3月 8日	カフェ外出：道の駅湖畔の里
3月 9日	カフェ外出：CCプラザ・みよし運動公園
3月 15日	ランチ外出：カルビ屋大福・中筋店・平和記念公園
3月 22日	カフェ外出：三次市三良坂図書館・パン工房 麦麦・サングリーン

経過、課題

- ・利用者の方は、外出を楽しまれていた。
- ・ランチ外出、お楽しみ外出では特に色々な場所に行く事が出来たと思う。

- ・利用者の方の希望にそった外出を来年度も行って行きたい。

5) 親子レクリエーション

目的

- ・利用者、ご家族、職員の親睦を深め楽しい時間を一緒に過ごす。

場所

- ・ともえ学園レインボー生活棟、プレイルーム

内容

- ・ともえ学園レインボーグループの通常日課をご家族の方と一緒にいき、ご家族の方に普段利用者さんが、どんな生活をされているか体験して頂く。

経過・課題

- ・利用者さん、ご家族、職員と一緒に楽しい時間を過ごす事が出来た。
- ・ご家族も高齢になり親子レクリエーションの内容もそれにそって計画していかなければならない。
- ・ご家族から利用者さんの日常のについての意見が頂けて良かった。

4 グループ会議

目的

- ・利用者のQOLを高めるため、個別処遇、日課、環境、各活動について課題を定義検討し、取り組みについての意識統一を図る。
- ・園長・事務長・支援部長・看護課・栄養課との意見交換、情報交換を行う。

内容

- 4月 療養食について 創造活動について 合同行事について 面談について 日課について 生活係より 共通理解事項について
- 5月 創造活動について 宿泊旅行について 食事について 相談事例について 営繕事項について ケースカンファレンス 記録について 共通理解事項について
- 6月 食事について シャワーユニットについて ケースカンファレンス 創造活動について 日課の見直しについて 予定の伝達(掲示板)について
- 7月 研修報告 年間ケア目標とケース目標について 手指乾燥機・手荒い・歯磨きについて 共通理解事項について 医務より 食事について
- 8月 研修報告 年間ケア目標とケース目標について 食事について 医務より 人権委員会より 親子レクについて
- 9月 研修報告 年間ケア目標とケース目標について 共通理解事項について 体育祭・親子レクについて テレビのリモコンについて 人権委員会より 食事について 医務より
- 11月 共通理解事項について 年間ケア目標とケース目標について 音楽について 入浴について 衣類の購入について 短期利用者の対応について 食事について 医務より
- 12月 報告研修 ケースカンファレンス 感染症について 外泊について 年間ケア目標とケース目標について 園内衣類販売について 共通理解事項について
- 1月 日誌について 居室替えについて ケースカンファレンス テレビについて 汚物処理の流れについて 人権について 年間ケア目標とケース目標について 共通理解事項について
- 2月 報告研修 日誌について 日課の流れについて 居室替えについて ケースカンファ

レンズ テレビについて 汚物処理の流れについて 人権について 事業報告について
入浴支援について 間食時のコップについて
3月 共通理解事項について 報告研修 医務より 歯ブラシについて 布団の乾燥について
間食の流れについて ケースカンファレンス 年間ケア目標とケース目標について
感染予防について 来年度の外出について

経過、課題

- ・ ケースカンファレンスや年間ケア目標とケース目標について話し合いを行うことにより、支援や利用者への共通理解に努め、支援方法を考えた。
- ・ 毎月の会議で協議できなかった事項など、協議事項が発生した際には社内メールを活用して意見交換や協議をした。
- ・ 会議で決まったことについては、速やかな会議録の作成や社内メールを使って、会議に参加出来なかった職員への周知をし、共通理解を持った。
- ・ 会議での発案によって、日課や利用者への支援、環境の改善に繋がった事項もあった。利用者へのサービス向上のため、他の部署との積極的な意見交換にも努めたい。
- ・ 早めに議案を提示し、それぞれの考えを持って会議に臨んで貰えるように努めたが、連絡事項だけに終わってしまう事項も多かった。来年度は活発な意見交換と提案が出来る場にしていきたい。
- ・ 会議の記録は持ち回りで行ったが、会議の進行も持ち回りで行うことで、職員のスキルアップも図っていきたい。

5 まとめ

インフルエンザの流行により体調を崩された方がおられたが、一年を通じてクラブ活動やグループ活動に元気に参加して頂くことが出来た。クラブ活動への参加の定着に伴い、積極的な参加に繋がる活動内容について再度見直しをしていきたい。今年度取り組みを始めた創造活動では、色々な取り組みにより個性的な作品が沢山できあがった。興味を持たれた方も多いが、活動に関心を持たれない方への取り組みは今後の課題である。食事や入浴場面などでは、個別の対応や広い枠組みの中でゆっくり時間を使って頂けるように、早めの誘導や時間設定を行った。環境面では、トイレを中心に生活棟内の掃除と臭いについての意識が高まり、清潔で快適な環境づくりに取り組んだ。また、修繕箇所の整備や改善も行った。手洗いとうがいなど、健康的な生活を送って頂くことに繋がったと感じるが、怪我をされる方も多かった。利用者の視点に立ち、安心して快適に過ごして頂ける環境づくり、個々の対応方法や支援について今後も考えていきたい。

(香川直規、中田和弥、木村美代子、福永真也、渡邊 武、若床まゆみ、竹間和輝、掛川陽介、中岡健太郎、川本治樹、清見原亜由美)

4 はなまるグループ

1 グループ目標

- ・ 利用者の個性や行動を理解し、自己選択、自己決定を尊重し、健康で豊かな生活を支援する。
- ・ 清潔で安心して生活して頂ける個別配慮された環境を提供する。

2 生活

1) 環境

目 標

- ・快適に過ごせる環境整備を行う。
- ・建物、建具の損傷、対応、補修、修繕を行う。

内 容

- ・居室以外の窓の拭き掃除は、窓掃除表（掃除場所一覧表）を作成し、遅出が午前の活動後に行った。
- ・居室のモップ掛けを早出が午前の活動後に行った。
- ・はなまる生活棟とセンターのトイレ掃除の手順を明確にし実践した。
- ・生活棟の廊下を化学モップで夜勤者が掃除する事を決め行った。
- ・センターにほうきとちり取り、モップを設置し間食後に掃除を行った。
- ・フィルター、排煙窓の網戸の清掃を行った。

まとめ

- ・居室や窓等はきれいになった。
- ・網戸の害虫や蜘蛛の巣など減らすことができた。
- ・今後センターの掃除と建物管理を充実させたい。
- ・今後も快適な生活環境を提供出来るよう取り組んでいきたい。

2) 衛生

目 的

- ・皮膚疾患の予防と対応
- ・健康維持

内 容

- ・入浴後も含め指示された軟膏塗布・消毒を看護のチェック表に基づき確実にを行った。
- ・入浴の際、時間差を付け浴室脱衣場の混雑を分散させゆっくり入浴して頂きこれまで、全面的に支援していた利用者の方には、出来るところは自分で身体を洗ってもらうよう努めた。
- ・毎週土曜日に爪切り・耳かき、日曜日に血圧測定を実施した。
- ・個々の健康状態の把握に努め、看護との連携を深め、迅速な処置、必要な受診を速やかに実施できる体制作りに努めた。
- ・午前、午後のクラブ活動終了後、手洗いとうがいを徹底した。
- ・食事前の手洗い、手指消毒を徹底した。
- ・毎月1回体組成測定を行い、肥満防止、健康管理に努めた。
- ・歯磨き支援として、毎週日曜日午前6名ずつ、ひと月で24名全員の歯磨きが出来るように計画し実施した。歯磨き方法、手順などのマニュアルを作成し状態を把握できるようにした。月末、全員終了後看護にチェック表を提出し確認してもらった。
- ・髭剃り機掃除日を設定し、日勤が午前の活動後に掃除を行い衛生管理を行った。
- ・歯ブラシ更新表を作成し、定期的な交換を無駄なく行った。

まとめ

- ・入浴後の軟膏塗布は定着していた。チェック表を使用し確実にを行った。
- ・入浴時間を分散したことで、今まで不十分だった入浴支援も視野が広がりゆっくりと身体観察ができるようになった。

- ・体調の悪い人には早めに対応し配慮できたが、自分から体調の不調を訴えることが難しい人に対しては日頃の様子観察から把握する。
- ・インフルエンザが流行したが、手洗い、うがい、加湿、マスクの使用など徹底し行った。
- ・手洗いとうがい、手指消毒を徹底して行ったことで、定着し体調を崩すケースは少なかった。
- ・毎週土曜日の爪切り・耳かき、日曜日の血圧測定は衛生と健康状態の把握の1つになった。
- ・食事や睡眠時間に注意し、毎日の生活が精神的、肉体的に安定した状態で規則正しい生活を過ごして頂けるように努めたい。
- ・歯磨き支援で、虫歯の発見や予防、口内炎の発見、歯肉の状態の改善に努めた。
- ・口臭の改善が見られた。

3 グループ日課

目 的

- ・日課の流れを分かりやすく組み立て、利用者の皆さんが安心して生活できるようにする。
- ・クラブ活動以外の時間を有効に使うための内容を提供する。

内 容

- ・間食を摂る場所の変更・・・午前間食を食堂で摂っていたが、午前、午後の間食共にセンター大作業室に設置された自動販売機を使用（2月より）
- ・クラブ活動着の更衣場所変更...自動販売機設置による間食場所の変更で全員自室で更衣。
- ・クラブ活動前の体操...午前、午後の活動前にリビングに集まってもらい体操をした。
- ・ビデオ観覧...グループ代表の方に交代でビデオレンタルに出かけていただいた。事前に借りて見たいビデオを聞いておくことで、スムーズにレンタルする事ができた。
- ・wii Fit...リビングに設置、トレーニングゲームなど熱心にされる方もおられた。
- ・運動...毎月、土日の午後（行事、ビデオ、カラオケ以外の時間）に実施。
球技大会、体育祭に向けて練習。ウォーキングの実施。
- ・水分補給...洗面所にコップを置き随時、水分の補給が出来る状態にしている。

まとめ

- ・今年度は多きな日課の変更もなく、皆さんスムーズに日課に参加されていた。
- ・リビングに大型液晶テレビ及びブルーレイレコーダーが設置されたことで、ビデオ鑑賞やゲームなど充実した内容を提供することが出来た。
- ・日課の設定がされていない自由な時間の過ごし方を考える必要がある。リビングをもっと活用してみんなが楽しめる環境作りを目指したい。

4 行事

1) レクリエーション

目 的

- ・季節に応じたレクリエーションを提供する事によって楽しんで頂き、安定した生活を送る。
- ・日常の生活から離れて気分転換を図って頂く。

内 容

- ・4月10日 お花見会（園芸ハウス横芝広場）、バスドライブ（作木カヌー公園）
満開の桜の下、利用者さんは全体的に楽しそうな雰囲気の中で花見を満喫している様子だった。バスドライブの出発は少し遅れるが乗車はスムーズでドライブ中も落ち着いて景色を眺めていた。

- ・ 5月15日 バスドライブ（鮎の里）
車酔いする利用者もなく散策も時間をかけて行う事が出来た。帰園途中で森の泉に寄り、自動販売機で飲み物の購入をするが時間設定をある程度しておいた方が良かった。
- ・ 6月5日 ビデオ鑑賞会
アニメーション（ぜんまい侍）も分かりやすい内容で楽しめた。
- ・ 7月10日 バスドライブ（神楽門前湯治村）
当初、湧永庭園を予定していたが休園日だった為、行き先を急遽神楽門前湯治村に変更する。
- ・ 8月21日 納涼祭
流し素麺の準備は大変だったが事前に職員で協力し合い満足のいく物となった。輪投げゲームでは順番を待つ方も多かったのもう一つくらいゲームを考えておけば良かった。かき氷は連日の猛暑の為、喜んで頂けた。
- ・ 9月11日 バスドライブ（カルチャーセンター）
落ち着いて散策したり写真を撮ったりと、時間的にはゆっくりできて良かった。気温も高過ぎず、表情が険しくなる方もなくとても過ごしやすい様子だった。
- ・ 11月3日 藤兼祭り
御神酒のコーヒークリームパックを用意したが足りなかったため次回は3本購入したい。準備物ではタオル、笛、デジタルカメラの電池を忘れ、再度取りに戻らなければならなかったため出発前の確認を徹底したい。予定していた時間よりも地域の御神輿が来るのが大幅に遅れ、14時15分頃合流する。その為、三次建材前で15時30分を過ぎてしまい地域の方に伝え、先に帰らせて頂く。
- ・ 11月13日 バスドライブ（上野総合公園）
乗車に時間が掛かり出発が10分遅れるが、移動中はちらほらと紅葉を見る事が出来た。移動時間が長かったせいか到着後はほとんどの利用者さんが急いでトイレに向かう。食彩館しょうばら（ゆめさくら）で缶ジュースを購入するが種類が豊富で良かった反面、なかなか選ぶことが出来ない方もおられた。
- ・ 12月11日 忘年会
DVD鑑賞は「ケロロ軍曹」で内容もわかりやすく笑い声も良く聞こえた。カラオケやWiiFitも職員とコミュニケーションを図りながら楽しんでいた。
- ・ 1月15日 新年会
正月の遊び（福笑いやコマなど）やカラオケを楽しんでもらい利用者さんも満足そうだった。
- ・ 2月12日 バスドライブ（道の駅北の関宿安芸高田）
現地は吹雪で室内にもかかわらず寒かった。
- ・ 3月12日 打ち上げ会
センタープレイルームで会食の後、クラブ活動対抗でレクリエーションゲームを行う。職員も加わる事で盛り上がり、多くの方が笑顔で過ごされていた。その後は「二次会」と題して大作業室で間食を摂る。皆さん落ち着いて過ごされ楽しい会になった。

まとめ

- ・ 利用者さんは行事を楽しみにされており、職員とコミュニケーションを深める良い機会にもなっている。今後も色々な案を出し合い、利用者さんの生活の励みに繋がるよう内容を検討していきたい。

2) ビデオレンタル

目 的

- ・希望するビデオを借り、観賞する事によって安定した生活を送る。
- ・外出する事で気分転換図り、生活に潤いを与える。

内 容

- ・前年度と同じ方に代表してビデオレンタルに行ってもらった。

まとめ

- ・皆さんビデオレンタルを楽しみにされていた。ビデオが沢山ありすぎて選ぶ事が難しい方は職員と一緒に借りる作品を選んだりした。なるべく多くの方からリクエストを聞き、またメンバーも変更してたくさんの方に楽しんで頂けるようにしていきたい。

3) 宿泊旅行

目 的

- ・学園とは違った環境で色々な事を体験し日々の生活の意欲に繋げる。
- ・社会性を身につける。
- ・利用者の希望に添った場所を計画し旅行を楽しんで頂く。

内 容

月 日	参加人数	場 所
5月27日～28日	4名	錦帯橋、ちゅうピーパーク
6月16日～17日	4名	島根海洋館アクアス
7月14日～15日	4名	多古鼻、松江市内
8月 1日～ 2日	4名	広島市内
12月15日～16日	4名	道後温泉
3月16日～17日	4名	福山市みろくの里、鞆の浦

まとめ

- ・食事は旅先で好みの物を食べられ利用者さんも喜んでおられた。今後も反省点を活かし、思い出に残る楽しい旅行を提供していきたい。

4) 外出

目 的

- ・希望に添った外出を行い、安定した生活を送る。

内 容

実 施 日	参加人数	場 所
4月 9日	2名	サングリーン
4月23日	2名	湧永庭園、コンビニエンスストア
5月21日	3名	サングリーン、三次ワイナリー
6月 4日	3名	CCプラザ、三次ワイナリー
6月25日	2名	サングリーン
7月23日	3名	甲山、マックスバリュー
8月20日	3名	サングリーン

8月27日	2名	県民の森（島根県）
9月17日	2名	サングリーン
10月 8日	3名	湖畔の森、湖畔の森レストラン、フタバ図書
10月22日	2名	世良高原農場
11月 7日	3名	河内ふれ愛祭り
12月 3日	2名	ユーホー、ミーツ、フレスタ、ジョイフル
12月24日	3名	サングリーン、ダイソー
1月14日	2名	フタバ図書、サングリーン
1月21日	3名	サングリーン、ダイソー
2月 4日	1名	マクドナルド、サングリーン、ダイソー
2月18日	3名	サングリーン、ダイソー
3月 4日	2名	ユーホー、サングリーン
3月25日	2名	ユーホー、サングリーン

まとめ

- ・皆さん楽しみにされてる時間でもあり落ちついて外出することが出来た。
- ・今後も希望に沿った外出を計画していきたい。

5) 親子レクリエーション

目的

- ・家族と利用者、職員の親睦を深め、楽しい時間を過ごす。

内容

- ・日時 平成22年10月11日（月）10時45分～14時00分
- ・場所 センタープレイルーム、多目的棟。
- ・午前にはセンタープレイルームでスライドショー（はなまるグループの約1年間分の写真）観賞し、その後カードゲームを行う。午後は多目的棟で玉葱の皮を使ったハンカチ染めを行う。

まとめ

- ・ご家族29名、利用者24名、職員6名の参加で行った。利用者さんは午前、午後とも落ち着いて参加出来ていた。ご家族の方からは「楽しかった。」等の言葉を掛けて頂き、満足度はある程度高かったように思うが利用者さんの中にはレクが終わる時間が早すぎるとの意見もあり、今後の計画に活かせるよう考慮する必要がある。また、ご家族の方に負担の少ないプログラムを今後色々と用意していきたい。

5 創造活動

目的

- ・絵を描くことや物作りを行う事で、日常生活では得られない喜びを味わい、日々の生活の安定を図る。

内容

- ・週末、散歩の時間に利用者さん2～3名ずつ生活棟に残っていただき職員1名が付いて絵を描いていただいた。
- ・職員の確保が難しい場合もあり実施出来ない週もあった。
- ・親子レクも創造活動の一環としてハンカチの染め物を行う。

まとめ

- ・はなまるグループの利用者さんの中には絵を描くことに苦手意識を持っておられる方が多く、描画材を渡してもすぐにとりかかることは難しかった。
- ・絵を描くことは目標の一つとして考えたいが、取り組みとして最初は工作や遊びの中に創造的な要素を盛り込んで実施して行きたい。
- ・他の利用者さんの作っているものを見て参考にしながら制作される方も多いので2～3名ずつ行うのではなく全員一緒に取り組める内容を検討したい。

6 グループ会議

目的

- ・利用者の生活向上と充実したサービスの提供を目指し、環境・個別処遇・各活動についての課題を提起検討する。
- ・ケースカンファレンスを行い、支援についての意識統一と利用者に対する理解を深める。
- ・各部所との意見交換、情報交換、協議。

内容

- 4月...脂質異常症食について、研修について
- 5月...衣類の取扱について、ケースカンファレンス
- 6月...掃除場所、歯ブラシの準備について、食事準備について
- 7月...ひげ剃り機の掃除について、人権について
- 8月...出張報告、薬について、人権について
- 9月...親子レクについて、人権について
- 11月...顔拭きについて、人権について
- 12月...出張報告、衣類の園内販売について、自動販売機の設置について
- 1月...出張報告、人権について
- 2月...食事場所の変更について、ケースカンファレンス
- 3月...出張報告、ケースカンファレンス

まとめ

- ・会議前には、議題を提供し各自の考えをもって会議に臨むようにした。その他、迅速な対応を必要とする事柄に関しては、社内メール等を通じて協議し、速やかな対応を行った。
- ・会議参加者が意見を出しやすいよう小グループでの検討なども繰り返し行った。
- ・出張研修の内容を各自報告した。

(高田孝康、塚本博志、岩戸洋三、荒瀬好司、堂西美保、魚見敏満、佐々木拓実、長岡清美、濱本 豊)

5 園内行事

- ・一年を通して季節を感じる行事など、全体で参加出来る行事として毎月学園内で計画実施した。
- ・学園周辺の環境整備を計画実施した。

1 はな祭り

日時 平成22年4月8日 木曜日 14時00分～15時30分

場所 食堂

内容 利用者70名 職員 13名 係長：堂西 係：菅原、川本

入場後すぐに利用者の方は花御堂の屋根に花の飾り付けを行い席につかれました。はな祭りの由来についての説明があり、誕生仏へ合掌、お焼香、甘茶をすくい誕生仏に掛ける、仏に合掌という手順に沿って参加者全員が行いました。甘茶を全員がかけ終わった後に利用者さんへは飲み物と桜餅が配られました。

2 合同バスハイク

日時 平成22年5月4日 火曜日 13時30分～15時40分

場所 庄原市上野総合公園

内容 利用者31名 職員9名 係長：中岡 係：有田・長岡

外泊期間中、在園者対象のバスハイクでした。天候に恵まれたバスハイクとなりました。

3 母の日感謝祭

日時 平成22年5月9日 日曜日 14時00分～15時20分

場所 食堂

内容 利用者70名 職員13名 係長：福永 係：桑田・濱本

母の日の由来について説明後に、母の事を思い出し利用者さんは絵や文字を書かれました。グループ代表者より感謝の言葉を述べられました。

利用者さんの絵は5月29日(土)親の会行事の時、療育センタープレイルームに展示しました。

4 草刈り(1回目)

日時 平成22年6月14日 月曜日 7時00分～12時

場所 県道39号線水路沿い山側・FOX周辺・神野瀬川水源井戸周辺・学園坂法面

内容 職員7名 係：有田

草刈りは水路沿い、学園坂法面、FOX周辺、水源井戸周辺と移動しながら行いました。草集めは、最終の草刈りの後を追いながら、水路に落ちた草、石、泥などの除去に努めました。

5 穴笠神楽団上演

日時 平成22年6月13日 日曜日 14時10分～15時

場所 センタープレイルーム

内容 利用者67名 短期入所者1名 職員14名 係長：荒瀬 係：藤・竹間

神楽団代表の方挨拶と演目の説明後、開演となりました。大音響とともに神楽の演舞を近くで鑑賞でき良い体験ができました。

6 父の日感謝祭

日時 平成22年6月20日 日曜日 14時10分～15時00分

場所 食堂

内容 利用者68名 短期入所者1名 職員13名 係長：桑田 係：福永・塚本

父の日の由来について説明後に、父の事を思い出し利用者さんは絵やメッセージを書かれました。グループ代表者より感謝の言葉を述べられました。

利用者さんの絵は6月27日(日)親の会行事の時、療育センタープレイルームに展示しました。

7 七夕祭り

日時 平成22年7月7日 水曜日 14時00分～15時30分

場所 食堂

内容 利用者70名、職員15名 係長：竹間 係：山地・堂西

事前に各グループで、願い事を書かれた短冊の飾り付けをしてもらった笹を会場にて披露。七夕の

由来について説明後に七夕飾り作り、短冊紹介、記念撮影が行われました。

8 物故者追悼式

日時 平成22年8月5日 木曜日 10時30分～11時00分

場所 療育センタープレイルーム

内容 利用者70名 来賓1 職員17名 係長：長岡 係：山地・川本

物故者紹介、黙祷、追悼の言葉、献花、献歌、閉会后、参列者全員に飲み物が配られました。

献花した花は追悼式後ともえ会のお墓にお供えしました。

9 大掃除・ワックス掛け

厨房の殺虫剤使用

日時 平成22年8月10日火曜日 クリーンボーイ(厨房の殺虫)の準備 ~坂本課長

場所 厨房

内容 19:30殺虫開始(1時間) 下処理室 ~厨房の遅出職員

21:00殺虫開始(1時間) 主調理室 ~夜勤者(防災リーダー)

大掃除

日時 平成22年8月11日 水曜日 9時30分～

場所 ともえ学園

内容 職員30名 係長：中田 係：山下・佐々木

掃除の役割分担、掃除の手順通りに実施出来ていました。台風の影響で風もあり、ワックスの乾きが早くスムーズに作業が進みました。

10 全体活動

日時 平成22年8月11日 水曜日 9時10分～15時30分

場所 療育センター プレイルーム

内容 参加利用者34名、職員4名

生活場所の大掃除の日、利用者さんは養育センターで過ごされました。ビデオ鑑賞、カラオケ、ゲーム等で楽しんでいただきました。

11 合同バスハイク

日時 平成22年8月12日 木曜日 13時50分～15時50分

場所 吉舎町 とみし山

内容 参加利用者32名 職員9名 係長：佐々木 係：菅原・若床

外泊期間中の在園者対象のバスハイクでした。天気よく、バスに乗っての外出を楽しめました。

12 非常用保存食の作成訓練

日時 平成22年9月9日 木曜日 10時00分～11時45分

場所 厨房主調理室、食堂

内容 作成者：栄養課職員全員 摂食者：利用者・当日勤務の職員

非常用保存食(山菜おこわ)を作成し、利用者さんの昼食用、職員にはパック詰め後に職員室に移動し試食としました。非常食補充はセンター倉庫に保管されました。

13 体育祭

日時 平成22年9月25日 土曜日 10時30分～14時40分

場所 グランド

内容 参加利用者70名 54家族88名 職員30名

係長：掛川 係：藤・魚見

沢山のご家族の参加があり体育祭を盛り上げていただけました。当日天候は曇りで風があり、肌寒く感じた一日でした。服装に配慮が必要となりましたが、皆さんの協力により無事予定通り終了することが出来ました。

14 収穫祭

日時 平成22年10月4日月曜日 14時00分～15時00分

場所 外宮周辺

内容 利用者70名 短期入所者1名 職員18名 係長：魚見 係：高場・中田

収穫祭は外宮周辺に紅白のテントを張り準備、収穫した野菜をお供えし、今年栽培した作物を紹介。午前中行った芋掘りで収穫したサツマイモも紹介された後、園長からの挨拶、収穫祭についての説明、神の奉納が続けて行われました。収穫祭を通して収穫の喜びと感謝の気持ちを持つ事ができました。

15 草刈り(2回目)

日時 平成22年10月16日 土曜日 8時00分～12時30分

場所 県道39号線 水路沿い山側範囲・FOX周辺・神野瀬川・水源井戸周辺・学園下法面

内容 職員7名 係長：有田

準備は前日実施。FOX周辺と旧センター周辺は事前に刈ってあったので時間短縮が出来た。事故や怪我もなく時間通りに出来ました。

16 勤労感謝祭

日時 平成22年11月23日 火曜日 13時50分～15時00分

場所 食堂

内容 利用者68名 短期入所者1名 職員13名 係長：木村 係：前田・佐々木

勤労感謝の日についての話し、各グループから日頃頑張っている生活の様子を披露、頑張りました券配布(お菓子との交換券)、の流れでした。頑張りました券とお菓子交換では、箱の中にある隠された駄菓子を一つ取る内容のもので、何が出てくるか楽しみながら参加されました。

17 クリスマス会

係長：若床 係：山下・荒瀬

日時 平成22年12月25日 土曜日 14時00分～15時10分

場所 食堂

内容 利用者70名 短期入所者1名 親の会会長 職員18名

クリスマス会を盛り上げるために、係は各クリスマスにちなんだコスチュームを着用。食堂に飾られた大きなツリーが点灯され、親の会会長によるサンタクロースの登場とプレゼント、クリスマスソングの合唱やサンタと記念撮影もあり会は盛り上がりました。

18 大掃除、ワックス掛け

厨房の殺虫剤使用

日時 平成22年12月29日水曜日 クリーンボーイ(厨房の殺虫)の準備 ~坂本課長

場所 厨房

内容 19:30 殺虫開始(1時間) 下処理室 ~厨房の遅出職員

21:00 殺虫開始(1時間) 主調理室 ~夜勤者(防災リーダー)

大掃除

日時 平成22年12月30日 木曜日 9時30分より

場所 ともえ学園

内容 職員 29名 係長：中田 係：山下・佐々木

前日、作業前の物品の移動が殆ど出来ていたため、スムーズに作業に入ることが出来ました。新たに導入された2台の自動洗浄機は、今まで使用していた物に比べ小型で居室内の洗浄も可能になりました。

19 全体活動

日時 平成22年12月30日 木曜日 9時10分～15時30分

場所 療育センタープレイルーム

内容 利用者 32名 短期入所者 1名 職員 4名

生活場所の掃除中はセンターでビデオ鑑賞を楽しまれました。午後からは室内ウォーキングも取り入れ過ぎていただきました。

20 職員納会

日時 平成22年12月30日 木曜日 17時20分～17時30分

場所 ともえ学園 会議室

内容 職員 27名 係：事務長

この一年の仕事について相互に感謝と慰労と新年の健康を祈念。

渡邊親睦会副会長、各部署課長、部長、事務長より1年間の報告、園長より総括と年末慰労挨拶が行われ三本締めで最後を締めました。

21 鍋料理提供（外泊期間中の在園者を対象）

日時 平成23年1月3日 月曜日 11時45分～12時40分

場所 食堂

内容 利用者 32名 短期入所者 1名 職員 9名 係長：岩戸 係：桑田・川本

4テーブルに別れての鍋料理は利用者さんに好評で、ゆっくりと味わっていただきました。

22 合同初詣（外泊期間中の在園者を対象）

日時 平成23年1月3日 月曜日 13時50分～15時50分

場所 知波夜比売（ちはやひめ）神社

内容 利用者 33名 短期入所者 1名 職員 7名 係長：岩戸 係：桑田・川本

知波夜比売神社でお参りした後、赤名54ドライブインまでドライブを楽しみ休憩して帰園。

23 職員年賀式

日時 平成23年1月5日 水曜日 9時00分～9時5分

場所 職員室

内容 職員 22名 係長：宮崎 係：藤川

新年を祝い、係長による司会進行で朝礼を行う前に開催されました。

前岡園長より年頭の挨拶、年男・年女3名による今年の抱負があり、健康と幸せを祈念し全員で乾杯しました。

24 年賀式

日時 平成22年1月6日 木曜日 10時～

場所 食堂

内容 利用者 70名 職員 16名 係長：高場 係：竹間・荒瀬

園長より年頭挨拶、年男・年女の利用者さん6名の紹介、代表者挨拶、各グループの一年の抱負、

鏡開き、乾杯、「一月一日」を参加者全員で合唱という内容でした。今年は門松の設置、獅子舞の登場もあり、お正月らしい雰囲気でも盛り上がりました。利用者さんには紅白まんじゅうと飲み物が配られました。

25 餅つき

日時 平成23年1月16日 日曜日 10時00分～11時00分

場所 プレイルーム

内容 参加利用者70名 短期入所者1名 職員19名 係長：山下 係：掛川・長岡

年男・年女の利用者の方から餅つきと希望者による餅つきがおこなわれました。周りからのかけ声もあり楽しんで季節の行事を行う事ができました。

26 とんど

日時 平成22年 1月16日 日曜日 10時00分～15時00分

場所 駐車場裏空き地・食堂

内容 利用者70名 短期入所者1名 職員19名 係長：山下 係：掛川・長岡

降雪と積雪のため、年男・年女の利用者さんに代わって職員が点火を行い、利用者さんは建物内からの見学で一年間の無病息災を願いました。午後の会食は食堂で行われ、とんどの由来についての話の後、竹酒、とんどで焼いたお餅のぜんざいを参加者全員に配られました。

27 節分祭

日時 平成23年2月3日 水曜日 14時00分～15時00分

場所 食堂

内容 利用者70名 職員13名 係長：川本 係：菅原・岩戸

予定通りに行事は実施されましたが、インフルエンザに罹患された利用者の方がおられた為、参加者数は少なく残念でした。鬼の登場のタイミング等事前に打ち合わせを行った事や年男・年女以外の方にも豆撒きに参加して頂き、会を盛り上げる事ができていました。

28 ひな祭り

日時 平成22年 3月3日 木曜日 14時00分～15時00分

場所 食堂

内容 参加利用者69名 職員13名 係長：藤 係：木村、魚見

女性利用者さん4名に着物姿で登場してもらい紹介後に雛祭りの由来説明と、歌「うれしいひな祭り」を全員で合唱しました。白酒で乾杯をした後には、ひな人形作りに挑戦されたり、利用者さんによるキーボード演奏もあり楽しい一時を過ごされました。

(宮崎静美)

6 対外行事

他施設や地域の方々との交流や親睦を図りながら、地域社会の理解を深める事を目的に実施。

1 広島県西部地区知的障害関係施設親善球技大会

日時 平成22年5月23日 日曜日 10時00～15時30分

場所 庄原市総合体育館・(元)ニッテツグラウンド

内容 参加利用者19名 職員9名 係長：渡邊 係：竹間、岩戸

雨天での開催となりました。今回は雨天時のゲート通し競技の会場が離れた場所にあり、雨の中で

の移動でした。今回は上位入賞は出来ませんでした。それぞれに力一杯、楽しく競技に参加されました。当日は係の職員・各施設の職員・ボランティアで参加された方の協力により、雨天で難しい状況の中でも楽しく盛り上げて下さり、無事に競技を終える事が出来ました。

2 ひろしま障害者フライングディスク競技大会inみよし

日 時 平成22年8月8日 日曜日 9時30分～16時00分

場 所 みよし運動公園テニスドーム

内容 利用者 2名 支援職員 1名 岩戸

アキュラシー7m(一定の距離に置いた輪に10投し、通過した枚数を競う)、ディスタンス(ディスクを連続して3投し遠くへ飛んだ距離を競う。)に2名参加しました。昼休憩後には、アトラクションがあり、琉球国際祭り太鼓の方による踊りも見学できました。

(宮崎静美)

7 外泊

1 ゴールデンウィーク外泊

平成22年4月29日(木)～平成22年5月5日(水) 46名(療育センター宿泊利用2名)

学園車両利用者数 4月29日(木)...送り30名 5月5日(水)...迎え31名

2 お盆外泊

平成22年8月10日(火)～平成22年8月17日(火) 43名(療育センター宿泊利用2名)

学園車両利用者数 8月10日(火)...送り31名 8月17日(火)...迎え24名

3 お正月外泊

平成22年12月29日(水)～平成23年1月5日(水) 42名(療育センター宿泊利用2名)

学園車両利用者数 12月29日(水)...送り31名 1月5日(水)...迎え28名

4 まとめ

広島、福山、呉、大竹方面への送迎を実施しました。

送迎車両をご利用されない方の外泊については、随時ご家族希望日に外泊を実施しました。

(宮崎静美)

8 医療

1 利用者・職員の定期健診、生活習慣病予防健診

利用者70名 職員40名(35歳未満11名・35歳以上9名)

胸部レントゲン間接撮影 7月2日 利用者68名 職員7名(35歳未満)

胸部レントゲン直接撮影 職員5名(35歳未満) 利用者 2名

2 口腔健診

子鹿学園安井先生、歯科衛生士により、利用者70名実施

7月21日(水) 15時～16時 26名

7月28日(水) 13時30分～14時30分 26名

8月4日(水) 14時30分～15時 18名

3 受診の必要な利用者のリストアップとフォロー

緊急的に治療を必要とする利用者の受診を優先的にした

- 疾病予防の観点から早めの受診を実施するように努めた
 内科・外科・整形外科（リハビリテーション科）・皮膚科・眼科・耳鼻咽喉科等
 歯科治療は口腔健診・各グループの歯磨き支援のチェックの情報と日々の観察をもとに歯科
 治療の受診を計画し実施した
 毎週火曜日午前10時から12時までの間子鹿学園歯科受診をした
- 4 口腔機能向上維持が必要な利用者に食べる機能向上トレーニングを実施
 口腔機能体操（深呼吸・指の刺激3運動・両手の指の押し合わせ・首の運動・首、肩の運動
 肩の運動・上肢の筋力強化・口の開閉と舌のストレッチ・口の開閉と頬、頸のストレッチ・
 舌のストレッチ・口輪筋の運動・交互交換および連続運動）
 - 5 転倒危険因子の改善を目指して転倒予防対策をリスクの高い利用者を実施
 転倒予防に対する意識を高めるよう説明をして同意を得て実施した
 転倒予防に効果的な足・腹部・腰の筋力を強化するとともにバランス
 能力、歩行能力の改善を目指しリハビリテーションを行った
 転倒予防を目指す運動を習慣化するように説明とプログラムを作成した
 身体機能の改善を転倒率の低下につなげるよう身体能力、運動器の評価を
 もとに日常生活の中に取り入れ自主訓練ができるようにした
 身体評価から必要な補装具等の活用をできるようにして歩行等の改善に努めた
 入浴時の動線確保と自立と介助時の補助具の設置と購入の提案をした
 （手摺りの設置とシャワーチェアの購入について）
 - 6 生活習慣病予防の栄養プログラムについて血液検査等のデータの共有
 肥満症・糖尿病と耐糖能異常・脂質異常症・高尿酸血症と痛風・高血圧症・動脈硬化症につい
 て医師の所見から療養食あるいは普通食への変更の指示を受け栄養課との連携に努めた
 - 7 有酸素運動（ラジオ体操）の実践から介護予防体操のCDを用意
 （体操の基本、意識して力を入れること、重心移動を意識する等）
 【地域包括支援センターから情報を取得したもの】
 - 8 感染防止ガイドラインの作成の基本をサイボウズで周知
 蟻虫症・インフルエンザ・白癬菌の感染があった
 手洗いの方法の基準を提示し、手洗いダンスを推奨した
 - 9 排便コントロールとフットケアやその他の処置を確実に実施
 服薬状況、排泄状態から苦痛なく排泄ができるように努めた
 排泄表から支援と連携をして処置をして排便習慣が戻ってくるようにした
 各グループがそれぞれにスキンケア等の処置をしていたのを一元化させ
 表を作成し実施は効果的な入浴後にもっていった。
 処置表の作成をして実施確認を確実にできるようにした
 - 10 医薬品管理に関して常備薬と定期・臨時薬の整理
 - 11 看護と支援の実際の連携
 受診や健康上必要な医療・看護情報をサイボウズで周知し利用者の状態をとおり医療・看護・
 支援の方法等を共有するようにした。

（坂本宏子）

9 栄養食生活

1 はじめに

衛生管理に留意しながら利用者の嗜好の尊重、旬の食材の利用や暦の行事食の取り入れによる季節感のあるメニューの提供、また多彩な強化磁気食器を使用し、個々に応じた細やかな配慮のある食事作りに努めた。

2 栄養量

生活活動強度は「やや低い」を用い、常食の目標量と実質摂取量は次の表のとおりであった。

	目標量	実質摂取量
エネルギー (kcal)	2,200	2,222
たんぱく質 (g)	75.0	75.3
脂質 (g)	55.0	60.8
カルシウム (mg)	600	610
鉄 (mg)	7.5	10.0
ビタミンA (IU)	2,500	2,315
ビタミンB1 (mg)	1.11	2.96
ビタミンB2 (mg)	1.23	1.27
ビタミンC (mg)	100	122

3 栄養ケアマネジメントの実施

障害(児)者が自立して快適な日常生活を営み、尊厳ある自己実現をめざすためには、障害(児)者一人ひとりの栄養健康状態の維持や食生活の質の向上を図ることが不可欠であることから、個別の栄養健康状態に着目した栄養ケアマネジメントの実施を開始した。

4 療養食

糖尿病食・肝臓病食・胃潰瘍食・脂質異常症食を利用者の病状に応じて提供した。

5 食事形態

常食・刻み食・ペースト食を利用者に応じて提供した。

6 希望メニュー

利用者の個々の嗜好を取り入れるため、誕生日に利用者の希望のメニューを提供した。

4月：「とんかつラーメン」「お好み焼き」「あんかけチャーハン」「チューリップ空揚げ」「空揚げカレー」「シーフードカレー」

5月：「とんかつ」「秋刀魚の塩焼き」「かつカレー」

6月：「冷やし中華」「鶏肉空揚げ」「鮭のムニエル」「かつカレー」「かつカレー」

7月：「かつカレー」「焼き肉丼」「チャンポン麺」「クリームシチュー」「かつ丼」「肉うどん」

8月：「チキンかつカレー」「チャーシュー麺」「オムレツ」「焼き肉」「冷やし中華」「ハンバーグ」「とんかつ」「ちゃんぽん」「うな丼」

9月：「味噌ラーメン」「冷やし中華」「牛丼」「散らし寿司」「ハンバーグ」

10月：「親子丼」「チキンカレー」「クリームシチュー」

11月：「カレーラーメン」「親子丼」「オムライス」「かつ丼」「ラーメン」「日本そば」「ポークカレー」「ビーフシチュー」「かつカレー」「親子丼」「チキンカレー」「ビーフカレー」

ー」「牛丼」

12月：「ハンバーグ」「味噌チャーシュー麺」「かつカレー」「とんかつ」

1月：「チャーシュー麺」「うな丼」「とんかつ味噌ラーメン」「ラーメン」「鶏肉照り焼き」「牛丼」

2月：「かつカレー」「かつカレー」「天井」「チキンカツ」「とんかつ」「シチュー」「ハンバーガー」「うな丼」

3月：「ハンバーグ」「チャーシュー麺」

7 間食

間食は、全グループ統一して提供した。

4月～1月 午前：コーヒー 午後：菓子

2月～ 午後：菓子

8 正月料理

毎年三が日は朝食の雑煮、そしてお節料理を提供し、今年度も実施した。

今年度も「鍋料理」を提供し、鍋を囲みながら普段とは違った形式で、穏やかな雰囲気の中でゆっくりと食べて頂くことが出来た。

(後田喜代子)

10 事務

1 目標

外来者に対して常に明るく笑顔で接し、適切且つ迅速な対応に心がける。

電話受付では明確な対応に心がけ、速やかに関係部署に報告する。

緊急な事柄は速やかに口頭あるいは電話で報告する。

その他パソコンのサイボウズを利用して全員あるいは関連部署に配信する。

事務の正確かつ迅速な処理を行い、学園内外の連絡調整を徹底する。特にメールの送受信が可能な組織にはインターネットを利用し、迅速な処理を行う。

2 内容

事務

- ・ 支援費の請求、窓口での受付、入退所の手続き、利用者療育手帳・保険証・重度障害者医療受給者証の管理、自立支援医療受給者証の管理、各種印刷物の作成、各福祉事務所・行政機関との連絡調整、その他

庶務

- ・ 文書收受・発送、福利厚生、利用者預金管理、コピー機・コードレスホンの管理、その他
- 経理
- ・ 財務会計処理、利用料等の請求、親の会会計、親睦会の会計、物品購入、職員給与計算、調査統計、出張命令稟議書の作成、その他

3 まとめ

上記の業務については社会福祉法人ともえ会の諸規則、ともえ学園内規を基本として日々行ってきた。これからも原理原則を基本に、職員、利用者に信頼され、厳正でかつ平等に日々遅滞なく確実に遂行していきたい。

1 1 午前日課活動

1 目的

- ・個々に合った活動を取り入れることにより張りのある生活へ繋げる。
- ・達成感や楽しみを感じてもらえるように活動の内容を工夫する。

2 内容

リサイクルクラブ10名

- ・アルミの空き缶を潰し、量がまとまると業者へ売却(月1回程度売却)

集合場所：センター小作業室

きのこクラブ22名

- ・しいたけ栽培～ホダ木の伏せ込み、水槽浸け・ホダ場の整理

集合場所：センタープレイルーム

野菜クラブ15名

- ・しいたけの植菌・椎茸採取・花の苗栽培、山林、学園周辺の管理・畑作り(土作り)

集合場所：センター大作業室

クリーンクラブ8名

- ・掃除～生活棟、管理棟と療育センターの掃除
- ・衣類たたみ～洗濯済み衣類をたたんで仕分ける

- ・軍手洗い～活動後の洗濯済みを手を干す。軍手を洗い...集合場所：センター小作業室

いきいきクラブ14名

- ・学園周辺を個々に応じたウォーキング...集合場所：レインボー生活棟

3 まとめ

- ・現在のクラブ活動になり5年が経過し日課として定着してきた。
- ・野菜クラブでは昨年と同様、野菜を栽培し、畑も拡張し様々な野菜の栽培を試みた。
- ・花の栽培では多くの品種を試みたが猛暑で、販売できる苗が育たなかった。
- ・リサイクルクラブは多くの方の協力の下、安定した在庫確保と収入源が確保できた。新たにコンテナを購入し、運搬の作業効率が以前より良くなった。
- ・きのこクラブでは、山林の管理とホダ木の運搬がメインであったが室内での活動内容に課題が残った。
- ・いきいきクラブでは支援職員を1名増員し、とり組んだが個々に支援の必要な利用者がおられ対応が難しい場面があった。
- ・クリーンクラブでは職員1名を配置しセンターと生活棟、管理棟の掃除を行った。
- ・月例会は毎月定期的に行った。
- ・室内での活動内容が乏しく、運動メニューと創作活動の両立が難しく感じた。
- ・次年度に向けて室内活動を充実させることが大きな課題となった。

(魚見敏満、塚本博志、岩戸洋三、高場修治)

1 2 入浴洗濯係

1 取り組み

- ・利用者が安心して使用できる浴室の環境整備や洗濯室全般の管理を行った。

2 内容

- ・毎月グループ会議のない土曜日の午後、各グループより1名の参加で浴室内の清掃を行い、毎週日曜日の午前には、早出職員が洗濯物畳みの後、洗濯室内の清掃を行った。
- ・布団乾燥機と便落とし機を新型に交換した。乾燥機ははなまるが管理・清掃し、便落とし機は専用洗剤の補充も含めレインボーが管理をすることとした。併せて洗濯室内のレイアウトの変更も行った。
- ・入浴支援担当表に薬つけを担当する職員欄を新たに作成し、薬つけを徹底した。また、勤務変更があった場合は随時変更を行った。
- ・利用者用と職員用の下駄箱を設け、スリッパが脱衣室内の床に散乱しないよう整理に務めた。
- ・浴室タイルに滑り止め剤を塗布し、利用者及び職員にとって安全な環境整備に努めた。
- ・利用者用の洗体タオルやシャンプー、浴室掃除用の洗剤、衣類洗濯用の洗剤、職員用の脱衣室内スリッパなど入浴に必要な物品の購入を行った。

3 課題

- ・洗濯洗剤の消費が激しく、準備が追いつかない事があった。
- ・女子浴室の掃除も行ったが頻度は少ない。5月・8月・11月・2月など月を決めて組んでいく必要がある。
- ・浴室床の滑り止め剤については1年毎に塗布予定。
- ・浴室及び脱衣室は、手すりの取り付けや洗面台下のスペースなど改修の余地がある。必要最小限の物品数で室内が広く使えるよう、不要物品は今後も整理していく。
- ・当初、薬つけは看護職員が行ってきたが、看護師一人では負担が大きいため薬つけの職員を新たに配置した。しかし、現在ではほとんど支援員が薬つけを行っており、次年度、看護職員の人数・業務に余裕があれば、脱衣室での薬つけに入ってもらえるよう要請する。
- ・トライアングル入浴時に入ってくる利用者が多く、16：30分頃は脱衣室が混雑する。順番や時間を再度見直して落ち着いて支援できるようにする。

(荒瀬好司、藤 頼久)

1 3 寝具

1 内容

- ・毎週火曜日までに寝具の発注用紙を記入。
- ・火曜日に寝具の搬入があり、その後リネンの係りが在庫の確認を行い調整をする。
- ・各グループへの在庫枚数の確認をし、リネン庫入口より左の棚に置く。
在庫を確実にする為に在庫は最低限にする。リネン台帳を作りリネン室に置く。
- ・布団やシーツを汚した利用者についてはリネン台帳に名前を記入し、シーツを持ち出す。
- ・不潔リネン室に、業者より麻袋を置いてもらい土曜日に麻袋にて回収してもらう。
- ・血液・便の付着した掛・敷布団・毛布は洗わずに小さく丸めて1枚ずつナイロン袋に入れて出し、回収してもらう。便の付いた物については便が付いていることを紙に書き、業者に分かるようにナイロン袋に入れておく。

- ・7月に掛け布団から毛布に変更。
- ・10月に毛布から掛け布団に変更。

2 反省

- ・在庫確認やリネン庫の整理は出来ていた。洗濯後のシーツの片付けが出来ておらず洗濯室に多くたまっている時があった。汚れた布団が袋に入れてなくそのまま置いてあることがあった。
- ・発注伝票の忘れがあったが、シーツ交換の準備用意をする人が伝票を記入することにし、漏れは無くなったと思う。発注数量は適切にできていたと思う。

(佐々木拓実、桑田樹実、木村美代子、清見原亜由美)

1 4 営繕

1 目的

- ・生活の場としての快適空間の実現、改善を目指す。
- ・不良箇所の早期復旧作業を実現する。

2 内容

- ・不良、破損箇所について、可能なところは出来るだけ自分たちで修繕に努めた。

3 補修箇所

各居室、廊下の壁の補修

食堂に壁、テーブルの角、食器棚へクッションの貼り付け

鍵穴へのグリスアップ

ドアの塗装はがれ箇所へ塗料塗布

カーテンレールの交換・カーテン、タッセルの補修、作成依頼

電球交換

手指乾燥機の取り付け

その他、大きな改修については、業者に委託した。

4 まとめ

- ・徐々に破損箇所が増え、修繕痕が目立つようになってきた。壁の破損は壁材を埋めかえた。
- ・係として、不良、破損チェックが不十分で復旧が速やかに出来なかったことが反省点である。

(山下 誠、福永真也、魚見敏満)

1 5 親の会係

1 概要

- ・ともえ学園入所者の保護者で組織されたものが「ともえ親の会」であり、事務局は親の会係として職員が担当しており、以下親の会の活動を紹介する。

2 事業

1) 定例総会の開催

平成22年5月29日(日) 於：ともえ学園療育センター 50家族、67名参加

平成23年3月5日(土) 於：ともえ学園療育センター 42家族、61名参加

2) 役員会の開催

1回目 平成22年5月29日(日) 於：ともえ学園療育センター(6名出席)

- 2回目 平成22年 6月27日(日)於:ともえ学園療育センター(7名出席)
- 3回目 平成22年 7月25日(日)於:ともえ学園療育センター(7名出席)
- 4回目 平成22年11月 7日(日)於:ともえ学園療育センター(6名出席)
- 5回目 平成23年 3月 5日(土)於:ともえ学園療育センター(7名出席)

3) 福利厚生...香典、弔慰金、生花、傷病見舞金、饞別の贈呈。

4) A I U損害賠償保険への加入継続。損害賠償金の支払い。

5) 入院時の付添看護料の贈呈。

6) 親善球技大会 平成22年5月23日(庄原市総合体育館)

7) 美化研修会の開催...平成22年6月27日(日)於:ともえ学園療育センター

「学園美化活動とグループ別茶話会、全体会」 44家族62名参加

8) 美化研修会の開催...平成22年11月14日(日)於:ともえ学園療育センター

「豊かなかわりを考える」(広島大学教育学部教授 船津守久先生)44家族62名参加

9) 懇親会の開催...平成23年3月5日(土)於:三次グランドホテル

家族、62名参加。学園職員29名参加

10) 例会の開催

平成22年7月25日(日)於:ともえ学園療育センター 54家族、83名参加

11) お楽しみ会の開催

平成22年7月25日(日)於:ともえ学園療育センター 54家族、83名参加

12) 河内ふれ愛祭り... 平成22年11月7日(日)於:河内小学校

「リサイクルバザー」の実施。前日準備。ご家族6名参加

売上金¥45,720

13) 外泊の受け入れ、援助

平成22年 4月29日(水) ~ 平成22年 5月 5日(火)

平成22年 8月10日(月) ~ 平成22年 8月17日(月)

平成22年12月29日(火) ~ 平成23年 1月 5日(火)

14) 親子レクリエーションへの参加

トライアングル 平成22年10月10日(土)17家族、24名参加

はなまる 平成22年10月11日(月)19家族、29名参加

レインボー 平成22年10月 9日(土)18家族、28名参加

3 感想・今後の課題

6月の美化作業は、天候が不良の中、枝木の剪定など行ってもらい心配したが、怪我なく終える事が出来た。、担当職員の変更もあったが係3人で協力し、特に問題はなく行事を終えることが出来たと思う。各行事の際、毎回混雑する受付について、昨年度から資料・名札をセットにし、送迎バス利用者には車内での配布等行った結果、混雑の緩和、スムーズな受付が出来ているので、引き続き行うと良いと思う。懇親会の参加費を集める際は、間違いのないよう分かりやすい名簿一覧などを作成し、よりスムーズになるよう行って行くと良いと思う。

(堂西美保、高場修治、竹間和輝)

16 食生活

1 目的

- ・食堂の環境整備、清掃、備品の管理をおこなう。
- ・毎日の食事を美味しく、気持ち良く摂っていただける快適な空間と支援を提供する。

2 内容

- ・各グループで協議をしてもらい利用者の席の変更を行ってもらった。
- ・席の変更等があった場合、その都度机のシールを交換した。
- ・手消毒用のジェスパやウエス、新聞紙の補充を行った。
- ・テーブル拭きでは、食事準備が行われる前にテーブルを拭く事により準備の時間が短縮出来た。
- ・給食リーダー、ホワイトボードへの食数など定着し利用者の人数などの把握が確実に出来、準備も効率良く出来ていた。
- ・毎週日曜日に各部署より一名ずつ集まり、食堂の汚れている箇所を清掃した。又、チェック表は廃止しサイボウズで周知し毎週エプロンの洗濯を行った。
- ・エプロンの汚れ、破損があった為、エプロンを新しく更新した。ナプキン入れも随時新しい物に交換を行った。
- ・椅子や、テーブル角のクッションを営繕係で直してもらった。
- ・2月1日より食堂に缶飲料の自動販売機を設置した。
- ・ボランティアに依頼し食堂用テーブル布巾を縫ってもらった。

3 課題・まとめ

- ・昨年にキャスターテーブルやホワイトボードの設置、テーブル拭きの改善など、今年に入り定着し食事準備も時間がかかることなく出来ていた。
- ・食事場所の変更があったが利用者の方も混乱する事無くスムーズに受け入れてもらった。
- ・テーブル拭きのタオルが無くなる事が多くあり掃除用タオルと混ざることがあった為、改善が必要と思った。

(岩戸洋三、藤 頼久、掛川陽介)

1 7 実習

1 受け入れ状況

- ・実習生受け入れ無し

2 まとめ

- ・今年度は実習生の受け入れは無かったが、来年度の実習受け入れがあるため、各グループ内での統一するマニュアルが必要となるので早めに作成していく。

(桑田樹実、中岡健太郎、濱本 豊)

1 8 ともえ通信

1 概要

- ・ともえ通信の編集発行と、平成22年度の事業報告書の編集発行。
- ・ともえ通信は毎月1日に印刷。ご家族、理事、評議員に配布し、同時にホームページに掲載。

2 毎月の記事

5月1日発行 第265号 4月の様子 各グループの出来事 一品メニュー
花まつり 5月の予定 利用者の方についてお知らせ

	人事異動	新任職員自己紹介	編集後記
6月1日発行 第266号	5月の様子	各グループの出来事	一品メニュー
	母の日感謝祭	西部地区親善球技大会	人事異動
	6月の予定	新任職員自己紹介	編集後記
7月1日発行 第267号	6月の様子	各グループの出来事	一品メニュー
	父の日感謝祭	7月の予定	人事異動 神楽観賞
		編集後記	
8月1日発行 第268号	7月の様子	各グループの出来事	一品メニュー
	七夕祭り	職員についてお知らせ	8月の予定
		新任職員自己紹介	編集後記
9月1日発行 第269号	8月の様子	各グループの出来事	一品メニュー
	物故者追悼式	合同バスハイク	9月の予定 編集後記
10月1日発行 第270号	9月の様子	各グループの出来事	一品メニュー
	体育祭	10月の予定	合同旅行 編集後記
11月1日発行 第271号	10月の様子	各グループの出来事	一品メニュー
	収穫祭	11月の予定	編集後記
12月1日発行 第272号	11月の様子	各グループの出来事	一品メニュー
	勤労感謝祭	12月の予定	編集後記
1月1日発行 第273号	12月の様子	各グループの出来事	一品メニュー
	クリスマス会	新年の挨拶	1月の予定 編集後記
2月1日発行 第274号	1月の様子	各グループの出来事	一品メニュー
	年賀式	餅つき・とんど	人事異動 2月の予定
		編集後記	
3月1日発行 第275号	2月の様子	各グループの出来事	一品メニュー
	節分祭	3月の予定	編集後記
4月1日発行 第276号	3月の様子	各グループの出来事	一品メニュー
	ひな祭り	4月の予定	編集後記

(竹間和輝、有田貴之、佐々木拓実)

19 研修

1 職員研修会

目的

- ・研修の機会の提供・利用者支援技術の向上
- ・障害者に対する人権意識、福祉に携わる人の心得を認識する為

内容

・4月17日(土) 18:10~20:00 職員室 参加者 17名

講師：広島大学教育学部教育研究科教授 船津守久氏

テーマ：「患者さんに対する際の心構え」

ケース研究：はなまるグループ「衣類へ強い拘りのある方への対応」

- ・ 5月29日(土) 18:10~20:00 職員室 参加者 17名
講師：広島大学教育学部教育研究科教授 船津守久氏
テーマ：「自閉症の世界へようこそ～強度行動障害の目安と内容例」
ケース研究：トライアングルグループ「他傷行為の対応への苦慮」
- ・ 6月26日(土) 18:10~20:00 職員室 参加者 18名
講師：広島大学教育学部教育研究科教授 船津守久氏
テーマ：「自閉症の世界へようこそ～構造化」「絵で見る構造化」
ケース研究：トライアングルグループ「他傷行為の対応への苦慮」
- ・ 8月28日(土) 18:10~20:00 職員室 参加者 17名
講師：広島大学教育学部教育研究科教授 船津守久氏
テーマ：「子どもの理解と関わりについて」
ケース研究：レインボーグループ「衣類を破く行為がある方への対応」
- ・ 8月24日(火) 18:20~19:20 センタープレイルーム 参加者 20名
講師：三次消防署職員 3名
テーマ：「救命救急について」(心肺蘇生法の学習、AEDの使い方)
- ・ 9月18日(土) 18:10~20:00 職員室 参加者 15名
講師：広島大学教育学部教育研究科教授 船津守久氏
テーマ：「自閉症への理解」
ケース研究：トライアングルグループ「脱衣行為のある方への対応」
- ・ 11月13日(土) 18:10~20:00 職員室 参加者 16名
講師：広島大学教育学部教育研究科教授 船津守久氏
テーマ：「大切な人が病気になったら...」
ケース研究：レインボーグループ「ほぼ毎日、不潔行為をしている。不潔行為の減少と排泄の自立、そして衛生的な生活をして頂く事を目的としての支援について」
- ・ 12月18日(土) 18:10~20:00 職員室 参加者 15名
講師：広島大学教育学部教育研究科教授 船津守久氏
テーマ：「年代別の心の病気を知っておきたい事・ストレスをためない 健康週間」
ケース研究：レインボーグループ「外出と不潔行為について・便付けについて～現在の様子と今後」

2 新任職員のビデオによる研修

目的

- ・利用者に対する共通認識を持ち理解を深める
- ・自閉症の障害だけでなく、1人の人としてその尊厳を見つめることができるようになるために、自閉症の理解を深める

内容

- ・5名の新任職員を対象に「自閉症者の自己実現を目指して」と「自閉症の子どもたち～バリアフリーを目指して」の2本のビデオ、DVD見ての感想を提出してもらった。

3 新任職員研修

- ・期間：平成22年4月1日～ 8月9日

・対象者：新任職員 田原、松本

・場 所：園長室、職員室

【ヒアリング】4月 1日(木)～ 8日(木) 17時20分～

【研 修】4月23日(金) 14時00分～15時00分 1回 ともえ学園の運営方針
5月17日(月) 14時00分～15時00分 2回 知的障害、自閉症について他
6月10日(木) 14時00分～15時00分 3回 防災、緊急時の対応
15時00分～15時30分 消防設備見学
7月10日(土) 14時00分～15時00分 4回 パソコンの取扱他
8月 9日(月) 14時00分～15時00分 5回 調理関係

・期 間：平成22年5月1日～ 6月28日

・対象者：新任職員 坂本宏子、清見原

・場 所：園長室、職員室

【ヒアリング】5月 1日(土)～ 7日(金) 17時30分～

【研 修】5月17日(月) 14時00分～15時00分 1回 知的障害、自閉症について他
5月24日(月) 14時00分～15時00分 2回 ともえ学園の運営方針
6月 4日(金) 14時00分～15時00分 3回 パソコンの取扱他
6月10日(木) 14時00分～15時00分 4回 防災、緊急時の対応
15時00分～15時30分 消防設備見学
6月28日(月) 14時00分～15時00分 5回 利用者処遇関係

新任職員(清見原)のサポート6月～10月 対応職員 ... 木村

・期 間：平成22年7月1日～ 9月3日

・対象者：新任職員 前田仁也

・場 所：園長室、職員室

【ヒアリング】7月 1日(木)～ 7日(水) 17時00分～

【研 修】7月23日(金) 14時00分～15時00分 1回 ともえ学園の運営方針
8月 3日(火) 14時00分～15時00分 2回 パソコンの取扱他
8月10日(火) 14時00分～15時00分 3回 知的障害、自閉症について他
8月18日(水) 14時00分～15時00分 4回 防災、緊急時の対応
15時00分～15時50分 消防設備見学
9月 3日(金) 14時00分～15時00分 5回 利用者処遇関係

新任職員(前田)のサポート7月～11月 対応職員 ... 山下

3 結果・課題

- ・職員研修会では、船津守久氏に7回講義して頂いた。定期的な研修で解りやすく良かった。継続して欲しいの意見も多かった。
- ・8月には、「いざというときに使用できるようになる」為に三次消防署の方に来園して頂き救命救急の指導を受けた。この研修は毎年やって欲しいの意見も多数あった。
- ・現場で抱えている利用者対応の話し、また気軽に日頃の疑問などで問題解決していく時間が出来たらとの意見もあった。
- ・処遇困難事例についての知的障害者支援に実践ある講師の実践に基づいた講義やディスカッションを交えた話要望も多かった。処遇困難事例についてのアドバイスの要望も多かった。

- ・ 今後は理論だけではなく、虐待についてなど意見交換する研修があればの意見もあった。
- ・ 参加者が決まりつつある中で、土曜日以外だったら参加が可能な意見も多かった。
- ・ 研修への参加は勤務とみなして取り組んだ方が良いのではの意見もあった。
- ・ 固定化した研修会ではなく様々な方面からの内容の研修会にしていきたい。
- ・ 自由参加の研修も面白い試みである。

(山地恵子、塚本博志、渡邊 武)

20 ボランティア

1 概要

今年度もボランティアグループみよしの皆様のご協力により、衣類補修、台拭き縫い、ふきん縫い、アイロン掛け、ゼッケン作成などをして頂いた。

<施設見学>

初めて来園される方には施設見学をして頂き、利用者さんが生活されている様子などをみて頂いた。

<作業>

作業に不足している道具などは、ボランティアに来られた方に聞きながら補充をした。

ミシンを使う際に厚い生地を縫うと、トラブルが起きやすかった。ミシンの使い方が職員も分からない所があり、説明書もないのでトラブルが起きた際、トラブルの復旧に時間がかかった。

厚手縫いのできる部品とミシンを購入してもらった。

場所については、5人までの受け入れが作業がしやすいのではないかと思う。

ボランティアのない月には、補修衣類がたまるのでボランティアグループの方の来園のない月も係職員で補修の日があったら良いと思う。

<アンケート>

今後の対応を向上させるためにアンケートに回答して頂いた。

2 受け入れ状況

5月24日	八次地区	5名
6月28日	青河地区	5名
7月26日	十日市地区	5名
10月25日	三次地区	5名
11月22日	川西地区	5名
1月24日	十日市地区	7名
3月28日	青河地区	5名

(若床まゆみ、有田貴之、堂西美保)

21 エコロジー

1 理念

- ・ ともえ学園でも出来る環境保護を実践し、社会に貢献する。
- ・ エコロジーについて一人ひとりが考え、エコの観点から業務の中で改善できる所は実践してもらおう。
- ・ 便利で快適な「エコライフ」から、「エコライフ」への意識改革。

- ・活動を通じ地球環境保護への意識を高めてもらう。

2 内容

- ・エコ啓発ポスターの作成、掲示。
- ・エコキャップ、プルタブ回収運動。

職員室に回収ボックスを設置し、ペットボトルや缶飲料を捨てる際にキャップを回収する。集めたキャップはNPO法人エコキャップ推進協会に寄附しポリオワクチンとなって世界の子どもたちに与えてもらう。プルタブはアルミ缶と共に売却を行う。

- ・リユース活動。

無人販売所（FOX）を利用し、家庭で使用しなくなったり、不用になった物を提供して頂き、安価にて販売するリユース運動を行う。

- ・クールビズ啓発活動。

クールビズバッジを1ヶ月間着用してもらい、エコロジーに関する興味と意識を持ってもらう。また、空調コントローラーへ設定温度に関する注意書きを貼りつけ、注意喚起を行った。

3 反省

- ・啓発ポスターでは、各係員による作品を会議室へ3ヶ月毎に掲示した。その都度、エコロジーへの意識を持って頂けたと思う。
- ・エコキャップの回収運動は昨年に引き続き、順調に回収ができた。年度末に業者へ回収を依頼した。
- ・クールビズ啓発運動も昨年に引き続き行った。
- ・リユース運動に関しては、定期的にリユース品の提供を呼び掛け、少量ながら提供があった。同時に無人販売所の整備、HPへの記載を行う事で、順調に販売が出来ていたように思う。

（渡邊 武、山地恵子、濱本 豊、松本和幸）

2.2 あいさつ運動

1 主旨

一人々が楽しく、気持ちの良い学園生活を送る為にも、自らが気持ちの良い挨拶を出来るようになる。すすんで「お先にあいさつ」を笑顔と一緒に持続していく。

2 目標

「笑顔を忘れず積極的にあいさつをして、エネルギーでホットな学園を目指しましょう。」

3 内容

1 職員間の挨拶を積極的に行う。

- ・過去に揚げてきた目標を今後も引き続いて行う。

- ・昨年に持続して、司会者に朝礼時と施設見学時にタスキと腕章を付けてもらい、司会者に朝礼の時と施設見学の時にタスキと腕章を付けてもらい、職員や各グループの利用者に率先して挨拶を行ってもらう。準備物として、タスキ、腕章は、以前の物を使用する。

「笑顔で」「元気にはっきりと」その日の出勤者全員に挨拶する。

- ・職員室の掲示板に「あいさつ運動」のポスターを貼る。2ヶ月に一度、係員が交替で作成し貼り替える。自由に個性を生かし、標語や絵などを書くなどしてバリエーション豊かなポスターを作成する。（5月坂本、7月川本、9月堂西、11月坂本、1月川本、3月堂西）

- ・ 標語をカッティングシートを使って貼る。
管理棟から食堂廊下入り口のドアのガラス面に文字を切り抜いたカッティングシートを貼り、
標語を掲示する。(5月、9月、1月、計3回貼り変える。高場)
- ・ 4月より「おまけの一言運動」を開始する。普段の挨拶の後に一言を添える。

4 反省

- ・ ポスターを貼る事で、あいさつの明るさや楽しさをイメージ付ける事が出来たと思う。
また、二ヶ月に一度作成したことで職員室に新鮮さも取り入れられた。
- ・ 標語をカッティングシートで作りドアガラスに貼り掲示したことで職員の目に入りやすく良い
試みだったと思う。
- ・ 4月には「おまけの一言運動」を実施し少しずつではあるが職場に笑顔が増し、明るい雰囲気
になってきていると思う。
- ・ 司会者のタスキ、腕章を新たに考えてみたいが良い提案を出せなかった。

(坂本美雪・高場修治・渡邊 武・堂西美保)

2 3 ゴミゼロ運動

1 目的

- ・ 施設内外を清潔に保ち、利用者及び職員が気持ちよく 生活しやすい環境に整備する。

2 取り組み

清掃活動

- ・ 月初めに担当者は、支援部長、各グループの課長、栄養課長、ゴミゼロ係に汚れなど気になる
所を問い、計画書を作成した。
- ・ 毎月第4土曜日の15:30から15分間を清掃活動とした。
- ・ 事前に場所と内容 参加者名を周知し、当日は朝礼で伝達した。
参加者(各グループから1名、事務所・厨房・看護から1名、ゴミゼロ運動係1名の5名)

掃除箇所

4月24日	正面玄関周辺	4名参加
5月22日	正面玄関ガラス	5名参加
6月26日	男性用職員更衣室	4名参加
7月24日	リネン室入り口周辺	5名参加
8月28日	センター玄関周辺	4名参加
9月17日	食堂外側窓及びサッシ	5名参加
10月23日	食道の網戸と外側の窓	5名参加
11月27日	職員室の電子レンジ 冷蔵庫 シンク	5名参加
12月25日	管理棟宿直室(浴槽含む)	5名参加
1月22日	食道サッシ	4名参加
2月26日	女性用職員更衣室	5名参加
3月26日	男性用職員更衣室	5名参加

ゴミゼロ啓発活動

- ・ ゴミゼロ係4名が標語を作り各部署に2点ずつ3ヶ月ごとに貼り替えた。

標語

人のゴミ 捨うあなたの思いやり
そのゴミ捨てる場所はそこですか
ゴミを見付けたらゴミ箱へ捨てよう！これが綺麗にする第1歩となる！
リサイクル出来る物はリサイクルへ！ゴミを出さないように心掛けよう！
見つけたら 進んで捨てよう ゴミ箱へ
普段から 意識しましょう ゴミ汚れ
整理整頓は ひとり ひとりの意識から
身の回りの整理 整頓 清潔 清掃で明るい職場

3 まとめ

- ・清掃活動は、日頃掃除が出来ない汚れが気になる場所などが清掃出来るので良い活動だと思う。
- ・15分の短い時間なので、事前に準備物をそろえて参加者も自分の役割を把握し作業に取り組んで頂いたので効率の良い活動が出来たと思う。
- ・ゴミゼロ啓発活動の標語の掲示は「ゴミを捨う かたづける 汚れていたら自発的に綺麗にする」が意識してもらえたと思う。

(岡下チエミ、菅原献司、川本治樹、清見原亜由美、長岡清美)

2.4 掲示物

1 活動

- ・各方面から送付されてきた、広報誌や、情報、案内を全職員にわかりやすく、新しい情報の提供に努めた。
- ・活動内容は係員3名で一週間毎に交替で掲示物をサイボウズで周知した。(ともえ学園の掲示板に「広報物の紹介」というタイトルで作成し、随時、広報物のタイトルやポイントを書き込んで行った。掲示期限も入れた。)
- ・掲示物は職員室に掲示し、期限がきたら破棄する物と保存する物に分けた。

2 反省

- ・期限が来ても取り外しが出来てなかったことがあった。
- ・掲示の貼り方を変えるまでは、密集し過ぎて見にくかったが、種類別に分けて貼り方の変更をした後は、綺麗に整理して張ることが出来たので分かりやすかったと思う。
- ・勤務の関係上、順番が変わることがあった。

(山縣圭子、前田仁也、掛川陽介)

2.5 人権委員会

1 年間目標

- ・利用者さん、職員同士に於いても人権侵害、暴力、暴言は絶対に行わない。
- ・礼節を重んじた言葉遣いで、対人支援技術の向上を目指す。
- ・体罰を用いた支援は絶対に行わない。
- ・全てにおいてプライバシー保護への配慮をする。

2 具体的重点目標

- ・利用者の呼称は、「さん」付けで統一する。
- ・威圧的で権威的及び命令的な口調などの働きかけはしない。
- ・第三者の視点で自分を見つめ直す。

3 取り組み

- ・人権委員会の開催
- ・各部署の定例会議で、人権に関する議題を協議してもらう。
- ・人権ポスターを職員室や会議室に掲示する。（半年で更新）
- ・インターネットで調べた事例や人権に関するホームページを最低2ヶ月に1回は周知する。
周知担当者

6月...荒瀬、8月...菅原（補佐...木村）、10月...木村、

12月...田原（補佐...支援部長）、2月...支援部長

- ・人権に関する書籍の購入

4 各月の取り組み

7月...「クラブ活動中に人権侵害に陥りやすいこと」を議題として

基本的に職員が遵守すべきこと（してはいけないこと）

言動上の注意点（言ってはいけないこと）

9月... トイレ支援の時はドア、カーテンを閉める等利用者のプライバシー保護に配慮しているか。

利用者個人の秘密やプライバシーに関わる事柄を、第三者に話してはいないか

トイレ支援など支援内容によって、同性支援の配慮をしているか。

利用者のプライベートな空間を保護しているか。

11月... 行事や外出先の確認を事前に利用者の方に個別に理解を頂き配慮しているか。

支援者側からの押しつけになっていないか。

支援職員の確保が難しく利用者の方にご迷惑をかけてしまうことについての確認はされているか。

1月...食事のペースをせかす

食べたいものからではなく、支援者の勝手な順序で食べさせている

ご飯やおかずを混ぜて食べさせている

声がけもしないで、黙って食べさせる

時間内に決められたものを食べさせることだけを考えた支援

口の中にまだ食べ物が残っているのに、次をすぐ食べさせる

食べたくないのに食べさせられる

1月...臨時委員会を開催

2月...人権についてのアンケート

5 まとめ・今後の課題

インターネットで調べた事例や人権に関するホームページを最低2ヶ月に1回は周知する事としていたが、周知だけではなく、グループ内で話し合ってもらい意見交換する事で、職員間の人権を意識した支援に対する意識付けをしていこうと、議題を出し意見を出してもらう事に変更した。人権啓発するポスター掲示ができた。人権に関する書籍の購入はできなかった。人権についてのアンケートを実施。今後も職員全体で定期的に啓発活動に取り組んでいく必要がある。

（木村美代子、菅原献司、荒瀬好司、田原恵里、宮崎静美）

2 6 見学者

1 概要

電話での依頼により、見学日、内容等の希望を聞き、行事予定表に沿って日程調整を行った。特に、利用者の生活棟の見学については、利用者への影響や、プライバシーの保護を優先し、時間帯をずらせたり時には見学を中止したりなど十分な配慮を行い実施した。

2 見学受入日

・ 4月20日	2名	一般（入所希望）
・ 4月27日	6名	一般（入所希望）
・ 7月26日	18名	一般
・ 9月20日	3名	一般（入所希望）
・ 11月11日	3名	一般
・ 12月12日	11名	心身障害者父母の会
・ 3月 8日	2名	一般（入所希望）

（宮崎静美）

2 7 防災

1 目的

- ・ 災害発生時は、速やかで適切な対応となるよう危機管理体制を充実させる。
- ・ 消防訓練を反復し疑似体験を積むことを重要とし訓練を積む。
- ・ 緊急時への対応能力向上を図る。

2 新任職員対象の防災研修会の実施

1) 研修内容

利用者不明時の対応

日勤帯、夜勤帯の連絡方法など

施設個所の確認

危険物の取り扱いと理念

日常的な利用者の所在確認と注意事項

消防関係：「防災マニュアル」を資料として基礎知識を習得

消防設備及び施設設備を実地見学

AED、人工呼吸器、吸引掃除機の設置場所、操作説明

3 緊急時の対応

「吸引掃除機」を食堂の手洗いの下に、いつでも使用出来る状態で保管、点検も随時行っている。
「人工呼吸器ユニット118番」と「AED」は職員室と医務室に常置し、随時所在やバッテリー状況を随時確認している。

4 消防訓練実施状況（は防災リーダー）

4月27日	金曜日	昼間の総合訓練	訓練者：香川・全員
5月14日	金曜日	夜間想定総合訓練	訓練者：高場・竹間・堂西
6月11日	金曜日	夜間想定総合訓練	訓練者：中岡・山地・塚本

- 7月16日 金曜日 夜間想定総合訓練 訓練者： 福永・山下・長岡
 8月24日 火曜日 消防署立ち会い夜間想定総合訓練 訓練者： 桑田・掛川・荒瀬
 消防署へ消防訓練実施計画書・結果報告書提出
 9月15日 水曜日 昼間の総合訓練 訓練者： 後田・全員
 10月15日 金曜日 夜間想定総合訓練 訓練者： 有田・若床・魚見
 11月15日 金曜日 夜間想定総合訓練 訓練者： 川本・藤・佐々木
 12月17日 金曜日 夜間想定総合訓練 訓練者： 木村・菅原・高田
 1月11日 火曜日 昼間の総合訓練 訓練者： 藤田・全員
 2月18日 金曜日 夜間想定総合訓練 訓練者： 渡邊・高場・濱本
 3月18日 金曜日 夜間想定総合訓練 訓練者： 山地・清見原・岩戸
 消防署へ消防訓練実施計画書・結果報告書提出

5 消防設備点検

年2回実施 平成22年9月・平成23年3月 業者委託により実施。

(宮崎静美)

28 朝礼

1 概要

夜勤者以外の全出勤者が職員室に集まり、9時より実施した。

開会挨拶、服装と身嗜みのチェックから始まり、各グループ、全体係、その他からの報告、予定などの報告、出勤職員の体調状況の報告、笑顔の練習、最後に閉会挨拶で終了する。

演台を使用し、司会とマイクを使用した報告の練習にも繋がっている。

(古栗 慎)

29 運営会議

1 概要

各部署の代表者で構成され、毎月、月初めを予定し協議した。

会議では、利用者主体の指針を見失わないように、問題提起、課題検討、日程調整等を行い、施設のより円滑な運営と利用者サービスの向上を目指した。

資料など、紙は一切使用せず、プロジェクターを利用して、随時必要な情報はインターネットからも収集し会議を進めた。

日々の情報は速やかにパソコンのグループウェアで周知され、会議では報告等が削除されることにより、必要な内容を掘り下げ討議できるようになった。

会議後は速やかに運営会議録をまとめ、即日、全員に周知した。

(古栗 慎)

30 安全運転管理者

1 目標

- ・交通安全に対する意識を高め、交通ルールの遵守と人に優しい交通マナーを実践し交通事故、交通違反を防止する。

- ・ 車輛の点検、整備を実施し車輛の故障、整備不良による事故が発生しないよう注意する。

2 内容

- ・ トライザセーフティ in ひろしまへ8チーム参加
- ・ 安全運転啓発の図書、垂れ幕を掲示
- ・ 各季の交通安全運動の周知
- ・ 月2回、安全運転管理者協議会からのメールマガジンを抜粋し周知
- ・ 車輛の点検、整備を業者に依頼

3 まとめ

- ・ トライザセーフティ in ひろしまへ参加した8チーム中8チームが、150日間無事故、無違反を達成する事ができた。
- ・ 安全運転に努めて頂くよう、引き続き啓発運動を行っていききたい。
- ・ 定期的な車両点検を実施し、今後も整備不良による事故が発生しないよう注意をしたい。

(高田孝康)

3 1 危険物取扱者

1 概要

地下タンク貯蔵所の灯油漏れを未然に防ぐため法律で定められた点検を定期的に行っている。

2 内容

- ・ 毎月、掲示板、漏油検知管、通気管、消火器の有無等の点検を行った。
- ・ 10月1日 3年毎の危険物地下タンク及び地下埋設配管気密漏洩検査を実施し、異常は見られなかった。

(後田喜代子)

3 3 福祉協会

広島県知的障害者福祉協会スタッフ部会に備北圏域代表として登録

- 6月30日 - 第1回広島県知的障害者福祉協会支援スタッフ部会議へ参加。
- 8月19日 - 第2回広島県知的障害者福祉協会支援スタッフ部会議へ参加。
- 11月25日 - 第3回広島県知的障害者福祉協会支援スタッフ部会議へ参加。
- 2月18日 - 支援スタッフ部会研修会 虐待防止のワークショップへ参加。
- 3月22日 - 支援スタッフ部会圏域会議総会へ参加。
- ・ 圏域代表は地域ごとで取り組みの違いや研修会の提案を行った。まだまだ知らない事が多く勉強不足を感じた。来年は自分の意見を持って積極的に取り組んで行きたいと思う。
- 支援スタッフ備北圏域会議を開催。
- 8月18日 - 第1回圏域会議(ともえ学園)
- ・ 1回目:ともえ学園の施設見学を行い。今後の備北障害保健福祉圏域での活動(圏域会議・研修会交流会など)内容について話し合った。
- 2月7日 - 第2回圏域会議(子鹿学園)
- ・ 2回目:虐待と園内研修の内容について話し合った。
- ・ ひとは作業所、清風会、子鹿学園、さくら学園、もみじ学園、ともえ学園の6施設で、支援に対す

る情報交換会を行う。

- ・一年間を通して他の施設の支援や取り組みなどを学ばせて頂いた。他の施設を借りて施設見学をする難しさ、自分の拝領の無さを感じた。来年度は早目の提案と稟議書の作成を行いたいと思う。

(福永真也)

3 4 ホームページ

1 概要

平成13年10月から開設したホームページも8年6か月で14万アクセスを超えた。

施設のことを広く理解していただくため、情報公開と情報提供、最新の様子を公開することを目的に開設し運営してきた。

複雑にならないよう簡素で、誰にでもわかりやすくシンプルなページ作成に配慮している。

2 内容

毎月定例の更新と共に、3つのグループと厨房の出来事については毎日ブログを更新した。

さらに、事務室、園長室、支援部長室というブログも掲載し、ウェブカメラや各種資料についても可能な限り公開した。アンケートのページから時々送られてくる意見も参考になった。

3 まとめ

今後も、個人情報に充分配慮しながら、施設への理解をより深めていただくために旬の情報を提供していきたいと思う。

(前岡孝司)